

HAMMOND

XB-1

ANIMATION by DIGITAL LESLIE

取扱説明書

"B" in the XB-1
HAMMOND ORGAN

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みください。

また、この機器を十分ご理解いただき優れた性能を使いこなされるためにも、この取扱説明書をよくお読みください。

取扱説明書は必要なときすぐにご覧になれるところに置いてください。

この取扱説明書に掲載している画面は工場出荷時の設定に基づいておりますが、一部で出荷時の設定と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

HAMMOND ORGAN

使用環境のご注意

直射日光の当たるところ、暖房機具のすぐ近く、湿気やホコリの多いところでの使用は避けてください。この製品は、常温の屋内で使用するように設計されています。屋外で使用される場合には、1) 雨がかけられない場所、2) 強風が吹かない場所、3) 極端な温度変化のない場所に設置してください。

据付場所のご注意

設置、据付の前に取扱説明書をよくお読みください。

平らで安定した場所への設置、据付をしてください。不安定な場所への設置、据付は絶対にしないでください。火災、地震の際にはオルガンに近づかないようにしてください。

使用される前のご注意

使用される前には必ず取扱説明書をお読みください。

電源コードは、定格電圧100V 50/60Hzの電源プラグにしっかりと差し込んで使用してください。

コードをひっぱって抜かないで、必ず根元の部分を持って抜いてください。

電源コードを電源プラグに差し込む場合には、必ず本体の電源をオフにしてください。また濡れた手で電源コードをさわりますと、感電する恐れがありたいへん危険です。

長期間ご使用にならない場合には、電源コードを電源プラグから抜いておいてください。

外部機器（例えばレスリースピーカー、MIDI機器）を接続して使用する場合にも、必ず本体の電源をオフにしてください。接続するレスリースピーカー、MIDI機器の電源もオフにしてください。

用途以外の使用禁止

本機の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

転倒や落下の恐れがありたいへん危険です。

使用方法

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

本体、各種装備、または内部電子部品を改造しないでください。

もし改造された場合は非常に危険です。正常動作の保証はいたしません。

保守

キャビネット、鍵盤等を汚ていない乾いた布などでふき、本機を常に清潔にしてください。

アルコール、ベンジン、シンナー等は製品をいためる恐れがあります。

異常時の処置

異音、異臭等が発生した場合には、本体の電源を切り、すみやかに専門のサービス員に点検を依頼してください。絶対に内部の電子機器に触れないでください。感電する恐れがあります。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
|  | 注意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな |  |
| 注意: 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。修理は、専門のサービス員に依頼してください。 | | |



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器を分解したり、改造したりしないでください。



修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず専門のサービス員に相談してください。



次のような場所での使用や保存はしないでください。

温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）

水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿気の高い所

ホコリの多い場所

振動の多い場所



電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。



警告

電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきます。



この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。



次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、専門のサービス員に修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

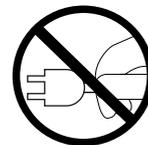


注意

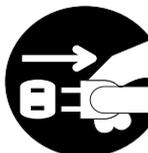
この機器は、正常な動作が妨げられることのない所に設置して、使用してください。



電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



メモリーのバックアップについて

本機は、内蔵されている電池によりデータのバックアップを行います。
トランスポーズの機能は、バックアップされませんので、ご注意ください。

電源をONしたとき、数秒間、次のようなディスプレイ表示が出たときは、ご注意ください。

電池の電圧が低くなっています。

!! ATTENTION !!
<CHANGE BATTERY>

バックアップ用電池の電圧が下がっています。お早めに、購入店に電池の交換をご依頼ください。
ディスプレイは、数秒間、表示した後、「プレイモード」の表示になります。

本機は、電源を入れたとき、メモリー・チェックを行います。メモリーのバックアップが正常に行われていないと、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。

メモリーのバックアップが正常に行われていれば、イニシャライズ（初期化）は実行されず、「プレイモード」の表示をします。

電池交換の目安は、リチウム電池でのご使用で製造年月日よりおよそ5年です。

電池が正しく挿入されていません。

!! WARNING !!
<CHECK BATTERY>

バックアップ用電池が正しくセットされていないか、または電圧がありません。お早めに、購入店に電池交換をご依頼ください。

ディスプレイは、数秒間、表示した後、自動的にイニシャライズ（初期化）を行います。イニシャライズ（初期化）が終了すると「プレイモード」の表示になります。

バックアップ回路に異常があります。

!! EMERGENCY !!
<CHECK BATTERY>

そのままご使用されますと、本機に多大な損傷を与える可能性があります。すみやかに電源を切り、購入店に修理をご依頼ください。

本機の故障、外的ノイズ、修理や電池交換などによるメモリー内容の消失により生じた損傷、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任は負えませんので、あらかじめご了承ください。

新しくエディットされた各パラメーターは電池によってメモリーバックアップされています。大切なデータはユーティリティプログラムのMEMORY DUMPを使用し、外部のMIDI機器に保存することをおすすめします。

エラーメッセージについて

**PLEASE
POWER ON AGAIN X**

このような画面が表示された場合、電源を1度切り、数秒後に電源を入れ直してください。このとき本機の動作を正常に戻すためにオールイニシャライズ（すべてのデータを初期化）されることがあります。エラーメッセージが頻繁に表示される場合は、ディスプレイ画面のXに表示されたエラー番号を確認のうえ、すみやかに電源を切ってください。購入店に修理をご依頼される場合は、エラー番号をお伝えください。

**- ATTENTION -
MIDI BUFFER FULL**

このような画面が表示された場合、MIDI情報が過度に入出力されています。

外部にMIDI入力される機器を接続している場合は、その機器のMIDI出力を中止してしばらくお待ちください。再び同じメッセージが表示される場合は、外部機器を再設定するなどMIDI出力を制限する必要があります。

ごあいさつ

このたびは、ハモンドオルガン X B - 1 をお選びいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

X B - 1 は 1 9 3 4 年ローレンス・ハモンドにより 1 号機モデル A 型を発表して以来、6 0 年余りもの間、世界中の多くのミュージシャンに愛用され、様々なミュージックシーンで演奏されつづけてきた伝統のハモンドサウンドを新開発 V A S E + D R B システムで再現し、最新の D S P テクノロジーによって誕生したデジタル・レスリーを搭載した新世代のハモンドオルガンです。本製品はお好みのオルガン・サウンド作りから M I D I コントロールにいたるまでの多機能にもかかわらず、コンパクトかつつかいやすく設計された製品です。

2 1 世紀にむけてより多くの演奏者にハモンドサウンドを愛していただくことを願い、X B - 1 をお届けいたします。

X B - 1 の優れた機能を十分に発揮いただき、末永くご愛用いただくため、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

株式会社 **鈴木楽器製作所**

目次

安全上のご注意

使用上のご注意

メモリーバックアップについて

エラーメッセージについて

| | |
|------------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 目次 | 2 |
| X B - 1 各部の名称と働き | 6 |
| 演奏を始める前に | 10 |
| 接続 | 10 |
| 電源を入れる | 11 |
| ディスプレイについて | 11 |
| X B - 1 の初期化について | 12 |
| デモ演奏について | 13 |
| オルガンを演奏する | 14 |
| ボリューム | 14 |
| プリセット | 14 |
| ドロバー | 15 |
| ドロバーセレクト | 19 |
| パーカッション | 20 |
| ビブラート/コーラス | 21 |
| レスリー | 21 |
| スプリット | 22 |
| ホイール | 22 |
| X B - 1 のシステム構成 | 23 |
| システム概要 | 23 |

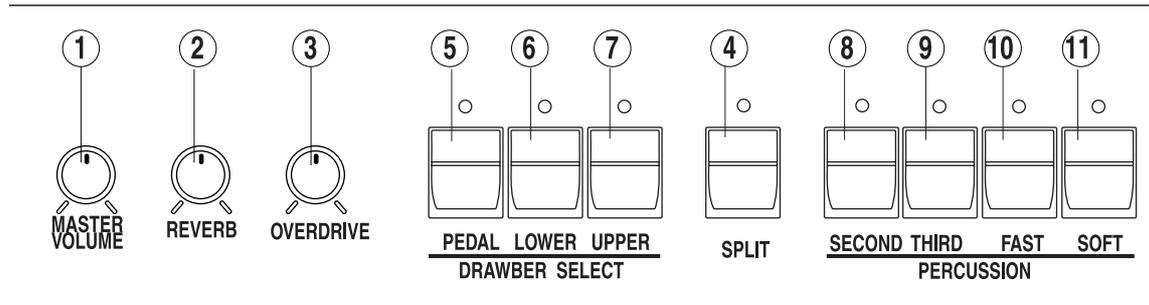
| | |
|-----------------------|----|
| MIDIと鍵盤 | 23 |
| プリセットとキャンセル | 24 |
| パラメータについて | 24 |
| モードについて | 25 |
| プリセットの設定 | |
| - プリセット・パラメータ・エディット - | 26 |
| プリセット・パラメータ | 26 |
| プリセットネーム | 28 |
| プリセットネーム | 28 |
| ドローバー | |
| ドローバー・レジストレーション | 28 |
| ドローバーアタック&キークリック | 30 |
| ドローバーサスティン | 31 |
| ドローバーボイス | 32 |
| ドローバーフォールドバック | 33 |
| パーカッション | |
| パーカッションディケイ | 35 |
| パーカッションレベル | 36 |
| パーカッションタッチ | 37 |
| パーカッションベロシティ | 37 |
| パーカッションドローバーキャンセル | 38 |
| パーカッションドローバーレベル | 38 |
| パーカッションキートラック | 39 |
| アニメーション | |
| ビブラートスピード | 40 |
| レスリーブプリセット | 40 |
| リバーブパラメータ1 (モード) | 41 |
| リバーブパラメータ2 (レベル) | 41 |
| オーバードライブ | 42 |
| トレブルコントロール | 42 |
| フェーズコントロール | 43 |
| インターナル・コントロール | |
| スプリットポイント | 44 |
| スプリットモード | 44 |
| ロワーオクターブ | 45 |
| バンドレンジス | 45 |
| モジュレーションモード | 46 |
| オルガンゾーンキーマップ | 47 |
| エクスターナル・コントロール | |
| ゾーンチャンネル | 48 |
| ゾーンプログラムナンバー | 49 |

| | |
|--|-----------|
| ゾーンバンクナンバー-MSB | 50 |
| ゾーンバンクナンバー-LSB | 51 |
| ゾーンキーマップロー | 52 |
| ゾーンキーマップハイ | 53 |
| ゾーンキーオクターブ | 54 |
| ゾーンボリューム最大 | 54 |
| ゾーンボリューム最小 | 55 |
| ゾーンペロシティカーブ | 56 |
| ゾーンベンダースイッチ | 57 |
| ゾーンモジュレーションスイッチ | 57 |
| ゾーンダンパースイッチ | 58 |
| プリセットのレコード | 59 |
| X B - 1 全体の設定 (グローバル・パラメータ・エディット) | |
| -レスリー・パラメータ・エディット - | 61 |
| レスリー・パラメータ | 61 |
| レスリープリセット | 62 |
| スロースピード | 63 |
| ファーストスピード | 64 |
| ライズタイム | 65 |
| フォールタイム | 66 |
| ブレーキタイム | 67 |
| ボリュームバランス | 68 |
| マイクセッティング | 69 |
| レスリーパーカッション | 70 |
| - システム・パラメータ・エディット - | 71 |
| マスターチューン | 73 |
| チューンモード | 73 |
| トランスポーズ | 74 |
| ドロワーボリューム | 74 |
| フットスイッチ | 75 |
| MIDI チャンネル | 77 |
| MIDI エクスプレッションチャンネル | 78 |
| MIDI ローカル / オムニ / NRPN | 78 |
| MIDI コントロールナンバーの設定 | |
| フットスイッチ / モジュレーション / エクスプレッション / レスリー | 80 |
| MIDI ゲート | |
| プログラムチェンジ / ドロワーチェンジ / コントロールチェンジ / T x ベンダー / | |
| T x モジュレーション / R x プレス / R x アフタータッチ | 82 |
| MIDI インボリューム最大 | 85 |
| MIDI インボリューム最小 | 85 |
| MIDI R x トランスポーズ | 86 |
| MIDI ソフト・スルー | 86 |

| | |
|---|-----|
| - ユーティリティ - | 87 |
| ユーティリティ | 87 |
| メモリーダンプ | 89 |
| プリセットコピー | 91 |
| プリセットデフォルト | 92 |
| オールリセット | 93 |
| プリセットリセット | 94 |
| レスリーリセット | 94 |
| システムリセット | 95 |
| エクスプレッションモニタ | 96 |
| デモソング | 96 |
| X B - 1 の一歩進んだ使い方 | 98 |
| フル・マニュアルオルガンの設定 1 | 98 |
| フル・マニュアルオルガンの設定 2 | 99 |
| シーケンサーとの接続 | 100 |
| MIDI とは | 102 |
| システム・パラメータ・リスト | 104 |
| レスリー・パラメータ・リスト(MIDI NRPN) | 104 |
| プリセットパラメータ・リスト(MIDI NRPN) | 105 |
| MIDI インプリメンテーション・チャート | 107 |
| MIDI インプリメンテーション・チャート (各チャンネルについて) | 108 |
| MIDI ドロワー・データ | 109 |
| システム・エクスクルーシブ | 109 |
| MIDI キーデータ・フローチャート | 110 |
| 操作フローチャート | 112 |
| プリセット | 112 |
| グローバル(システム/ユーティリティ) | 114 |
| グローバル(レスリー) | 115 |
| X B - 1 仕様 | 116 |
| アフターサービスと保証について | |

XB-1 各部の名称と働き

フロント・パネル



1.MASTER VOLUME (マスター・ボリューム) つまみ

XB-1の音量を調節します。

2.REVERB (リバーブ) つまみ

リバ - ブのかかり具合を調整します。

3.OVER DRIVE (オーバードライブ) つまみ

オーバードライブのかかり具合を調節します。

4.SPLIT (スプリット) スイッチ

鍵盤を2つに分け、それぞれに異なった音色を割り当てます。

DRAWBER SELECT (ドローバー・セレクト)

ドロ - バ - の設定をするパートを選択します。

5.PEDAL (ペダル) スイッチ

ドローバーを動かすと、ペダル・パートの音色が変化します。ただし、ペダルのドローバーは、16'と8'です。

6.LOWER (ロワー) スイッチ

ドローバーを動かすと、ロワー・パートの音色が変化します。

7.UPPER (アッパー) スイッチ

PERCUSSION (パーカッション)

8.SECOND (セカンド) スイッチ

オルガンの音にセカンド・パーカッション(4'の減衰音)を加えます。

9.THIRD (サード) スイッチ

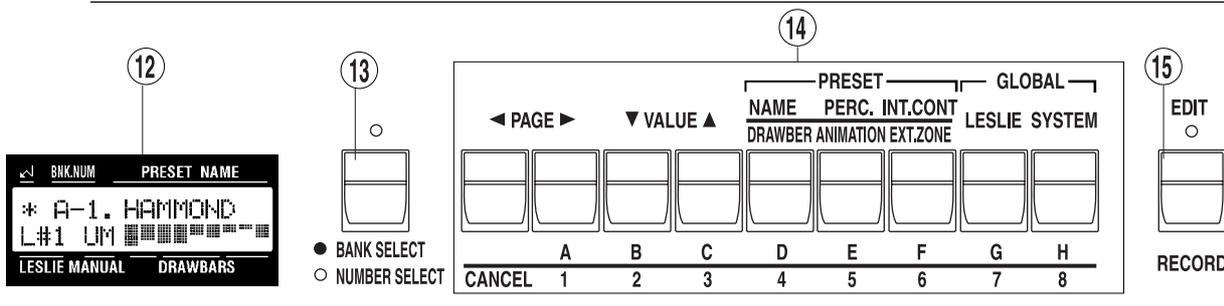
オルガンの音にサード・パーカッション(2-2/3'の減衰音)を加えます。

10.FAST (ファースト) スイッチ

パーカッションの減衰時間を切り換えます。

11.FAST (ソフト) スイッチ

パーカッションの音量を切り換えます。



12.ディスプレイ

オルガンの音にセカンド・パーカッション（4'の減衰音）を加えます。

13.BANK SELECT / NUMBER SELECT（バンクセレクト / ナンバー・セレクト）スイッチ

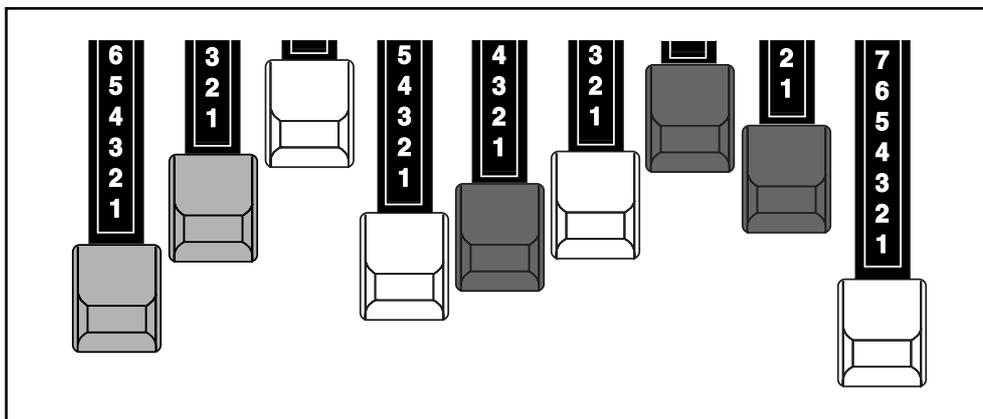
オルガンプリセットのバンクかナンバーを選択します。LED点灯時はバンク、LED消灯時ナンバーを選択しています。

14.CANCEL,PRESET（キャンセル、プリセット）スイッチ

キャンセル、プリセットはオルガンの設定を瞬時に切り替えることができます。詳しくはXB-1のシステム構成をご覧ください。通常は、プリセットのキャンセルとプリセットのバンクとナンバーを決定します。EDITスイッチを押してLEDが点灯しているときは、各エディットに関するスイッチになります。

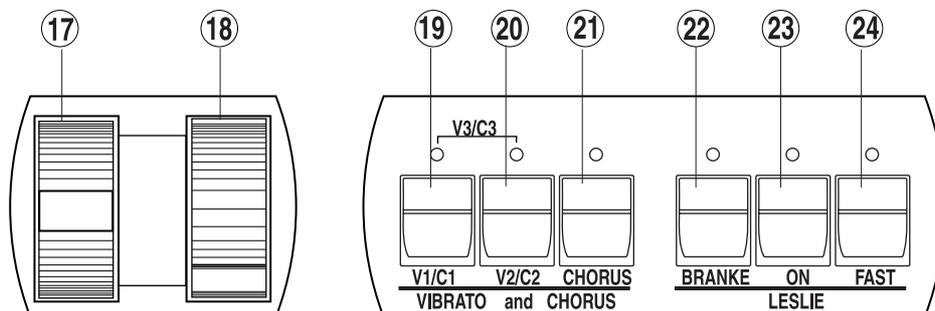
15.EDIT / RECORD（エディット / レコード）スイッチ

エディット・モードに入るとき、またはデータを保存するときに使います。



16.DRAWBER（ドローバー）

オルガン音色の基本となる部分を調節します。リアルタイムで音色を変化させることができます。



17.PITCH BENDER (ピッチベンダー)

本体や外部のMIDI機器のピッチを変更するときに使います。

ホイールを奥に回すとピッチが高くなり、手前に回すと低くなります。

18.MODULATION (モジュレーション)

外部のMIDI機器をコントロール (ビブラートなど) するときに使います。

VIBRATO and CHORUS (ビブラート / コーラス)

ビブラートまたはコーラスをかけることができます。

ビブラートとコーラスを同時にかけることはできません。

19.V1 / C1 (ビブラート1 / コーラス1) スイッチ

ビブラート1またはコーラス1をかけるときに使います。ただし、コーラス1にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

20.V2 / C2 (ビブラート2 / コーラス2) スイッチ

ビブラート2またはコーラス2をかけるときに使います。ただし、コーラス2にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

V3 / C3 (ビブラート3 / コーラス3)

ビブラート3またはコーラス3をかけるときは、V1 / C1スイッチとV2 / C2スイッチを押してください。ただし、コーラス3にしたいときは、CHORUSスイッチを押してください。

21.CHORUS (コーラス) スイッチ

コーラスをかけるときに使います。

LESLIE (レスリー)

レスリー・スピーカーのような、音の効果が得られます。

22.BRAKE (ブレーキ) スイッチ

レスリー・スピーカを通した音になります。また、レスリー・オフにしたときロタリーがゆっくり停止します。

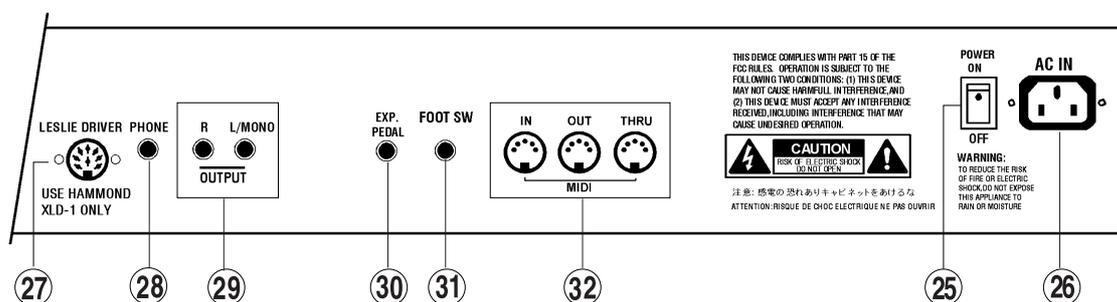
23.ON (オン) スイッチ

ローターが動き始めます。

24.FAST (ファースト) スイッチ

ローターが高速で回転します。

リア・パネル



25.POWER (パワー) スイッチ

電源をオン/オフします。

26.ACインレット

付属の電源コードを接続します。

27.LESLIE DRIVER (レスリー・ドライバー) 端子

外部レスリーを別売のレスリー・ドライバーを通して接続します。

HAMMOND XLD-1専用の端子です。

28.PHONE 端子

別売のステレオ・ヘッドホンを接続します。

29.OUTPUT R / L (MONO) 端子

外部のアンプやミキサ - に音声信号をステレオR / L (MONO) で出力します。

モノラルで出力するときはL (MONO) に接続してください。

30.EXP. PEDAL 端子

(別売のEXP-1など) エクスプレッション・ペダルを接続する端子です。エクスプレッション・ペダルによって音量を変えることができます。

31.FOOT. SW 端子

(別売のFS-9Hなど) フット・スイッチを接続する端子です。フット・スイッチによって機能をコントロールすることができます。

32.MIDI 端子

XB-1とMIDI機器を接続するとき、これらの端子を使います。

接続には、別売のMIDIケーブルをご使用ください。

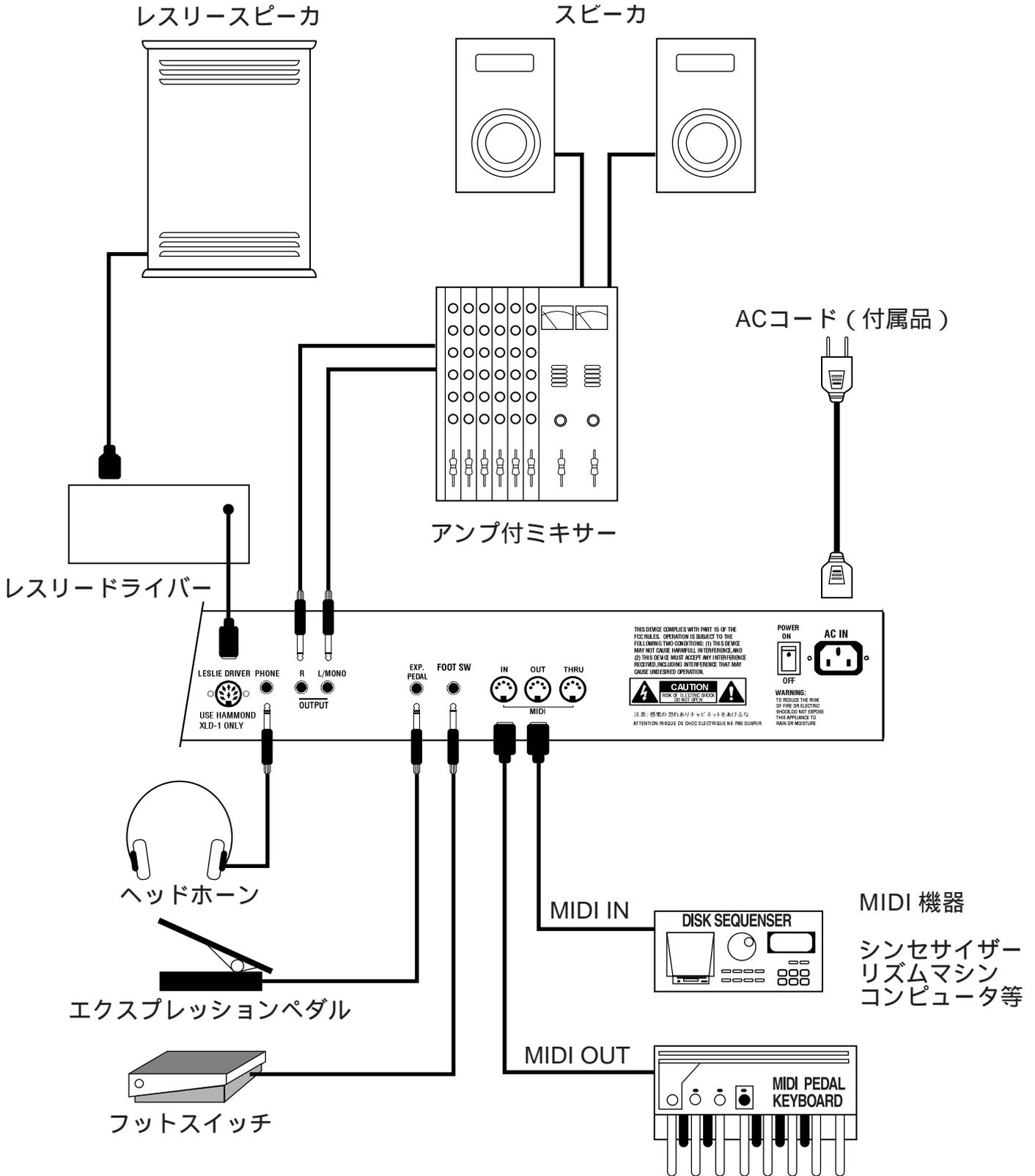
IN :MIDI 情報を受信します。

OUT :MIDI 情報を送信します。

THRU :IN から受信したMIDI 情報をそのまま送信します。

演奏をはじめる前に

接続



電源を入れる

接続が完了したら、以下の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカー等の破損を生じることがあります。

- 操作手順
1. 電源を入れる前に X B - 1 の MASTER VOLUME つまみが最小になっていることを確認してください。
 2. X B - 1 のリア・パネル (本体背面) の POWER スイッチを ON にしてください。
回路保護のため、電源を入れた直後はしばらく動作しません。
 3. 接続しているアンプ類の電源を入れてください。
 4. 鍵盤を押しながら、MASTER VOLUME つまみを回して音量を調節してください。



5. アンプ類の音量を調節してください。

電源投入時の状態

X B - 1 は、電源を切る直前の状態を記憶しています。そのため、電源投入時は電源を切る直前の状態になります。ただし、工場出荷時は CANCEL スイッチを押したのと同じ状態になります。

工場出荷時の CANCEL は音が出ません。ドローバーを操作するか、プリセットスイッチを押して下さい。

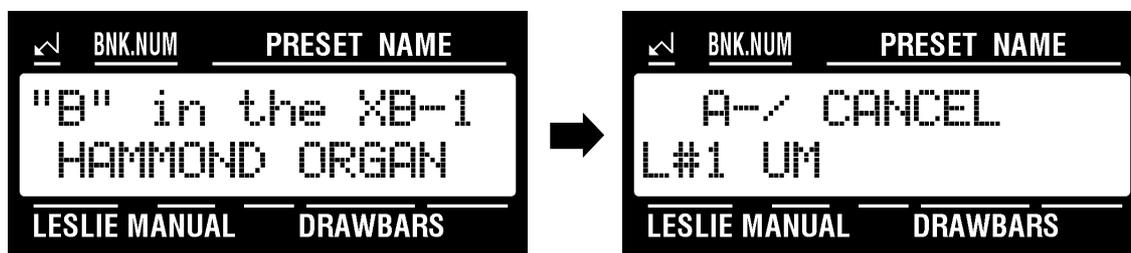
ディスプレイについて

本体中央にある LCD ディスプレイに、音色設定に関わる必要なセッティングや、パラメーター設定値などのすべての演奏情報が表示されます。

X B - 1 は、基本的な演奏情報を表示するプレイ・モードと、プリセット、レスリー、システムを設定するエディット・モードがあります。各モードによってディスプレイ表示が変わります。電源を入れると、最初にプレイ・モード画面が表示されます。エディット・モードに入るときは、EDIT/RECORD スイッチを押してください。

プレイ・モード

X B - 1 の電源を入れると、ディスプレイは下記のように表示されます。



工場出荷時の表示

数秒後ディスプレイは、電源を切る直前の画面になります。

プレイ・モードのディスプレイ情報

- | | |
|-----------------|--|
| 1 . MIDI | : MIDI INのノート・オンを受信すると、* (アスタリスク) が表示されます。 |
| 2 . BANK-NUMBER | : プリセットのBANKとNUMBERを表示します。 |
| 3 . PRESET NAME | : プリセットのNAMEを表示します。 |
| 4 . LESLIE | : レスリーのプリセット#を表示します。 |
| 5 . MANUAL | : UM (UPPER)、LM (LOWER)、PK (PEDAL) は、どのドロワーのレジストレーション表示かを示します。 |
| 6 . DRAWBERS | : ドロワーのレジストレーションを表示します。同一MANUALのDRAWBER SELECTスイッチを再度押すことによって表示を数字に変えることができます。 |

X B - 1 の初期化

工場出荷時の状態に戻ります。初期化の種類は、以下の通りです。

オールリセット

プリセット、レスリー、システム、すべての設定を工場出荷時と同じ状態にします。DRAWBER SELECTスイッチのUPPER,LOWER,PEDALの3つを押しながら電源を入れます。または、グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の オールリセット をご覧ください。

プリセット・パラメーターのリセット

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の
プリセット・パラメーターのリセット をご覧ください。

レスリー・パラメーターのリセット

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の
レスリー・パラメーターのリセット をご覧ください。

システム・パラメーターのリセット

グローバル・パラメータ・エディット (ユーティリティ) の
システム・パラメーターのリセット をご覧ください。

デモ演奏について

XB - 1には、3曲のデモ・ソングが入っています。

デモ演奏を聞く

デモ・ソングを選択してスタートさせます。

- 操作手順
1. EDITスイッチ (LED点灯)
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGEスイッチ

U11 DEMO. SONG
SELECT SONG 1

VALUE スイッチによって、1～3を選択します。

4. PAGEスイッチ

U10 DEMO. SONG1
PLAY OFF

VALUE スイッチによって、PLAY ONにすると演奏がスタートします。デモ演奏は、3曲を繰り返し演奏します。

演奏を終了するときは、VALUE スイッチによって、PLAY OFFにします。

オルガンを演奏する

ボリューム

マスターボリューム (MASTER VOLUME)

XB-1の音量を調整します。(ヘッドホン接続時は、ヘッドホンの音量を調整します。)

ヘッドホンで聞く際は、音量の上げすぎや長時間のご利用に注意してください。視聴障害の原因になります。



リバーブ (REVERB)

コンサート・ホールのような残響効果をつけます。



オーバードライブ (OVER DRIVE)

アンプやレスリーに対して入力オーバーさせたダイナミックな音の効果をつけます。

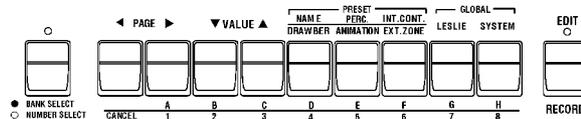


プリセット (PRESET)

ドローバーレジストレーションやパラメータの設定を切り換えます。XB-1には、CANCEL と64種類種類のプリセットが内蔵されています。

プリセットは、A-1のようなA(バンク)と1(ナンバー)で表示されます。これは、A~H(8個)のバンクの中にそれぞれ1~8(8個)のプリセットが内蔵されているからです。

ただし、CANCELは64種類どのプリセットにも属しません。



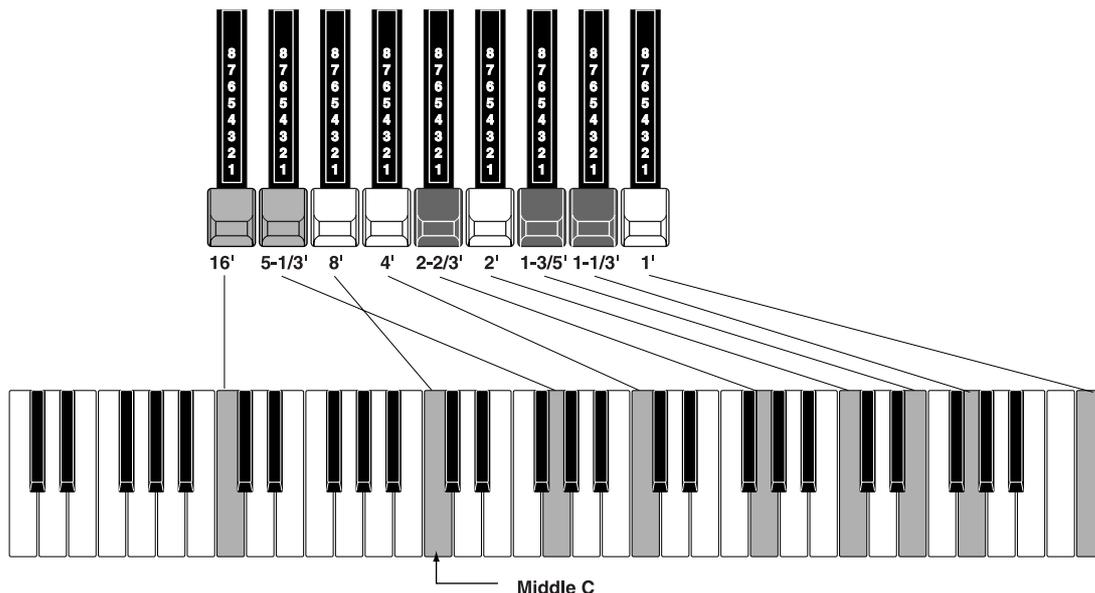
プリセットの選択

1. EDITスイッチのLEDが消灯していることを確認してください。(エディット・モードでは、プリセットを変更することはできません。)LEDが点灯しているときは、EDITスイッチを押しエディット・モードから抜けてください。
2. BANK SELECT / NUMBER スイッチを押す。(LED点灯)
3. A~Hスイッチを押す。(バンク選択)
4. BANK SELECT / NUMBER SELECT スイッチを押す。(LED消灯)
5. 1~8スイッチを押す。(ナンバー選択)

ドローパー

ドローパー操作

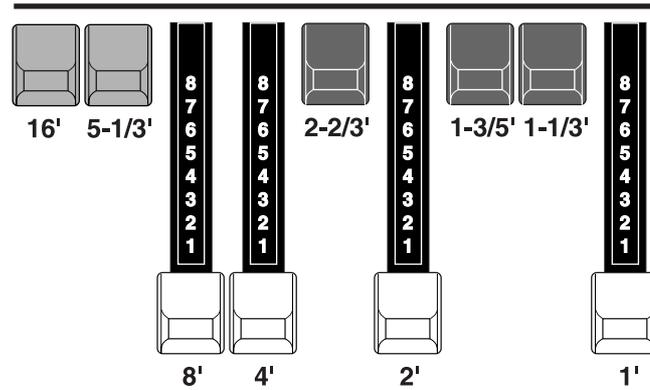
オルガンの音色は、9本のドローパーの組み合わせで決まります。ドローパーには、1~8の目盛りがついています。数字が見えなくなるまでドローパーを押し込むと、そのドローパーの音は鳴らなくなります。ドローパーをいっぱい引き出すと、そのドローパーの音は最大になります。プリセットのドローパーレジストレーションに対して操作したドローパーのみ更新されます。



図のように、8'で中央のC(ド)を押さえたとき、各ドローパーの音の高さは上図のようになります。また、ドローパーに記されているフィート(')という表示は、もともとパイプオルガンのパイプの長さから転用された言葉です。各ドローパーには1~8の数字が記されていますが、これは音色を作るうえでのボリュームであると同時に、簡単にセットするための目印です。例えば、クラリネットを吹くと、管の内部で空気が振動し、基音(8')と第3倍音(2-2/3')と第5倍音(1-3/5')が同時に発生します。この場合、3本のドローパーを引き出すとクラリネットの音が出ます。また、3本のドローパーのうち、右側を多めに、左側を少なめに引き出すと、高い音の成分が多くなり、かたい音の感じになります。逆に、左側のドローパーを多めに引き出し、ソフトな音色を作ります。このように、ドローパーを使い、同じ音色でも曲の流れや好みに応じて微妙に音の変化を作ることができます。

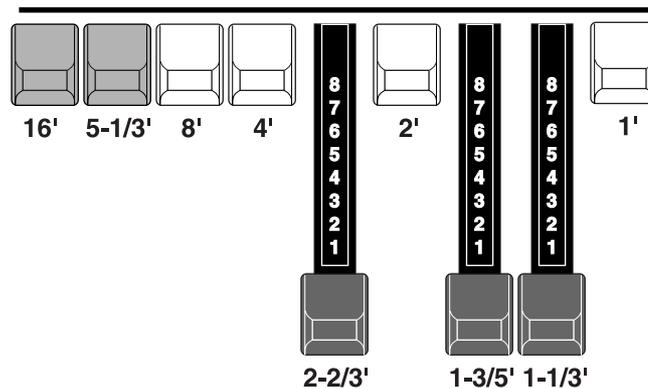
白いドローパー

各ドローパーの中で、白の左端 (8') のドローパーが基音 (すべての倍音の中で最も低い音の成分で、基音になる音) を作ります。その他の白いドローパーは右へ行くほどオクターブずつ高くなります。

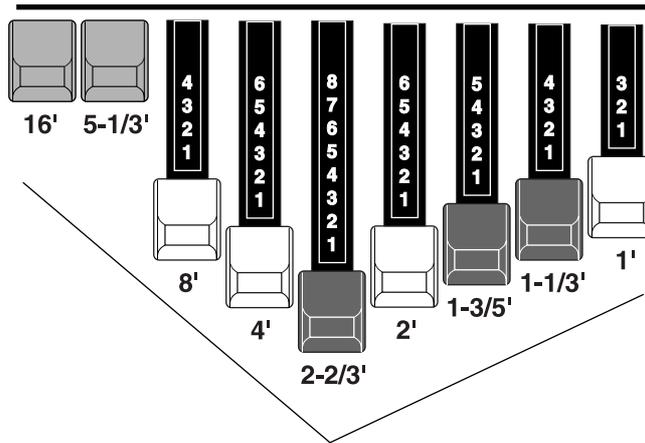


黒いドローパー

黒いドローパーの音は、基音に対して5度、3度関係の音になっていますが、豊かな音色を組み立てるうえで重要な役割を果たします。甘く柔らかな響きを持つホルン、艶のある弦楽器など、すべて異なる倍音の成分を含んでいるのです。



リード系 Reed family - (2 step pattern)



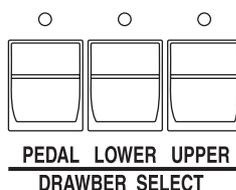
| | | | | | |
|-----------------|-------------|----------------------|-------------|-------------------------|-------------|
| Bassoon 16' | 44 7000 000 | Kimura 8' | 00 0172 786 | Trombone 8' | 01 8777 530 |
| Bassoon 8' | 05 7500 000 | Oboe (Orchestral) 8' | 00 4764 210 | Trumpet (Orchestral) 8' | 00 6788 650 |
| Bombarde 16' | 86 8400 000 | Oboe (Organ type) 8' | 00 4571 320 | Trumpet (Organ type) 8' | 00 7677 320 |
| Chorus reed 8' | 00 7777 750 | Oboe Hom 8' | 00 4675 210 | Tuba (Organ type) 16' | 88 8864 000 |
| Clarinet 8' | 00 6070 540 | Post Hom 8' | 00 6677 530 | Tuba (Organ type) | 03 6888 760 |
| Clarinet | 00 6060 300 | Reed Chorus | 63 8888 863 | Tuba Sonora 8' | 02 7788 640 |
| English Home 8' | 00 3682 210 | Saxphone 16' | 76 7100 000 | Vox Humana 16' | 33 6045 000 |
| Flugel Hom 8' | 00 5777 530 | Saxphone 8' | 01 8762 431 | Vox Humana 8' | 00 4720 123 |
| French Hom | 00 7654 321 | | | | |

ドローバーセレクト

ドローバーセレクト (DRAWBER SELECT)

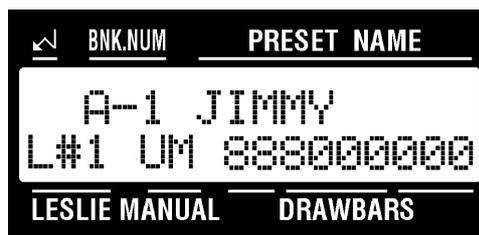
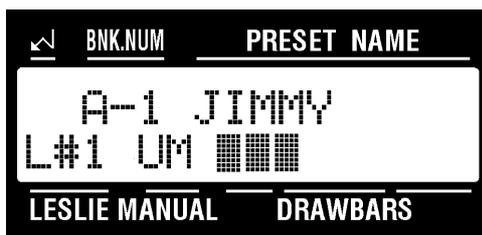
XB-1には、UPPER (上鍵盤)、LOWER (下鍵盤)、PEDAL (ペダル鍵盤) のマニュアルパートがあります。XB-1ではそれぞれマニュアルに異なったオルガンの音色を割り当てることができます。XB-1鍵盤は通常UPPERに割り当てられます。LOWER、PEDALの音を鳴らしたいときはスプリット機能を使うか、XB-1に他のキーボードを接続してLOWER、PEDALを割り当ててください。ドローバーセレクトのLOWERスイッチを押してLEDを点灯させると、ドローバーの操作はLOWERのドローバーを操作したことになります。

この時ディスプレイの表示もLM (LOWER MANUAL) となり、そのレジストレーションが表示されます。



ドローバー表示を数字にする

LED が消灯しているマニュアルのスイッチを押すとドローバーの表示が数字に変わります。もう一度押すともとの表示に戻ります。



ドローバー操作を無効にする

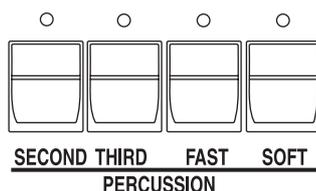
LED が消灯しているマニュアルのスイッチを押しながら、他のマニュアルスイッチを押すと、ドローバーセレクトの全てのLEDが点灯し、ドローバー操作が無効となります。この時ディスプレイはドローバーが無効になる前の状態を表示しており、ドローバーサウンドも表示と同じ音になります。表示が数字に変わります。もう一度押すともとの表示に戻ります。ドローバーセレクトのどれかのスイッチを押すと押されたマニュアルのLEDが点灯し、もとに戻ります。

現在のドローバーレジストレーションのサウンドにする

ドローバーレジストレーションとディスプレイのドローバー表示が異なる場合は、ディスプレイの表示のドローバーサウンドがでます。ディスプレイの表示 (またはドローバーサウンド) をドローバーレジストレーションに合わせたい時は合わせたいドローバーのマニュアルのスイッチを押し続けます。2~3秒後、LEDの点灯が点滅に変わります。押し続けていたスイッチを離れた瞬間にドローバーレジストレーションとディスプレイの表示 (またはドローバーサウンド) が一致します。

パーカッション (PERCUSSION)

パーカッションはハモンド独特の歯切れの良いアタック感をつくります。パーカッションは単独、もしくはドローバーと合成して使います。



セカンドパーカッション (SECOND PERCUSSION)

セカンドパーカッションはドローバーの4'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。セカンドパーカッションの効果を得るには、SECONDスイッチを押してLEDを点灯させます。

サードパーカッション (THIRD PERCUSSION)

サードパーカッションはドローバーの第3倍音 2-2/3'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。ドローバーと合成することにより、力強さと質感を高めるのに使います。サードパーカッションの効果を得るには、THIRDスイッチを押してLEDを点灯させます。

パーカッション・ディケイ・ファースト (PERCUSSION DECAY FAST)

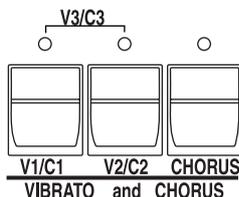
パーカッションの減衰時間を短くコントロールし、一音一音を引き締めます。アップテンポな曲で、歯切れの良いリズムを出したいときに使うと効果的です。パーカッション・ディケイ・ファーストの効果を得るには、FASTスイッチを押してLEDを点灯させます。

パーカッション・ソフト (PERCUSSION SOFT)

パーカッションの音量を下げる役割をします。つまり、アタックの頂点を下げる働きです。パーカッションをドローバーと合成する際に、音量バランスを設定します。パーカッション・ソフトの効果を得るには、SOFTスイッチを押してLEDを点灯させます。

ビブラート / コーラス (VIBRATO and CHORUS)

ドローバーのピッチを一定の速さで僅かに変化させ、音色に暖かみを加えます。



ビブラート (VIBRATO)

音の高低による揺らぎ (ビブラート) をつけます。V1、V2はそれぞれのLEDが点灯しているとき、その効果を得ます。V3の効果を得るには、V1とV2のLEDを点灯させます。

- V1 : 比較的浅いビブラート
- V2 : 標準的な深さのビブラート
- V3 : 最も深いビブラート

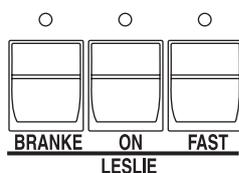
コーラス (CHORUS)

音の厚みや広がり (コーラス・ビブラート) をつけます。この効果を得るには、CHORUSスイッチを押してLEDを点灯させます。C1、C2はそれぞれのLEDが点灯しているとき、その効果を得ます。C3の効果を得るには、C1とC2のLEDを点灯させます。

- C1 : 比較的浅いコ - ラス・ビブラート
- C2 : 標準的なコ - ラス・ビブラート
- C3 : 最も深いコ - ラス・ビブラート

レスリー (LESLIE)

レスリーとは、回転するローターによって立体的でダイナミックな音の臨場感を作るスピーカーのことです。XB-1では、レスリー効果をデジタルで再現しています。



レスリー・オン (LESLIE ON)

レスリー効果を得るときは、ONスイッチを押してLEDを点灯させます。

レスリー・ファースト (LESLIE FAST)

レスリー・オンした状態では、ローターはスロースピードになっています。ファーストスピードにしたいとき、FASTスイッチを押してLEDを点灯させます。

レスリー・ブレーキ (LESLIE BRAKE)

レスリー・オフ時の動作を設定します。BRAKEスイッチを押してLEDを点灯させた場合は、ローターがゆっくりと回転し止まります。ブレーキ・オフの場合 (LED消灯) はローターの回転がない状態です。

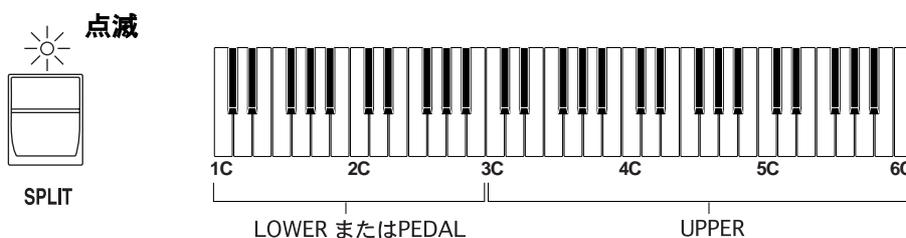
スプリット

スプリット (VIBRATO)

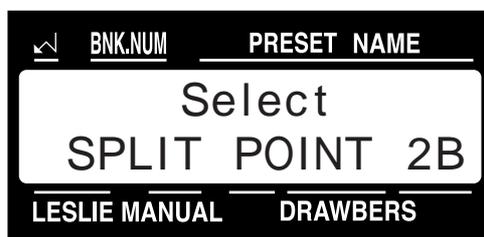
XB-1 の鍵盤を2つに分け、それぞれに異なった音色を割り当てます。

この機能を使うには、SPLITスイッチを押してLEDを点灯させます。鍵盤の分けたところをスプリットポイントと呼びます。スプリットポイントの右側にUPPER、左側はLOWERまたはPEDALを割り当てます。工場出荷時のスプリットポイントは「2B」に設定されていますが、スプリットポイントは移動することができます。移動させるにはSPLITスイッチを使うか、エディット・モードの **スプリットポイント** で変更することができます。

SPLITスイッチを使うときは、以下の手順でスプリットポイントを移動させます。



1. SPLITスイッチを押し続けるとLEDが点滅し、ディスプレイの表示が切り換わります。



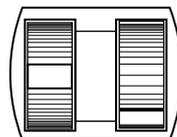
2. スプリットしたい鍵盤 (1C ~ 6C) を押します。押した鍵盤がLOWERの一番高い音になります。押した鍵盤がディスプレイの右下に表示されます。これでスプリットポイントが変更できました。
3. SPLITスイッチを押すとLEDが消灯し、プレイ画面に戻ります。

ホイール

ピッチベンダー (PITCH BENDER)

本体や外部のMIDI機器のピッチを変更するときに使います。

ホイールを奥に回すとピッチが高くなり、手前に回すと低くなります。ホイール変化の値は変更することができます。詳しくはプリセット・パラメータ・エディット (インターナル・コントロール) の **ベンドレンジス** をご覧ください。



モジュレーション (MODULATION)

本体 (レスリー / オーバードライブ) や外部のMIDI機器のコントロール (ビブラート) の変更をするときに使います。

詳しくはプリセット・パラメータ・エディット (インターナル・コントロール) の **モジュレーションモード** をご覧ください。

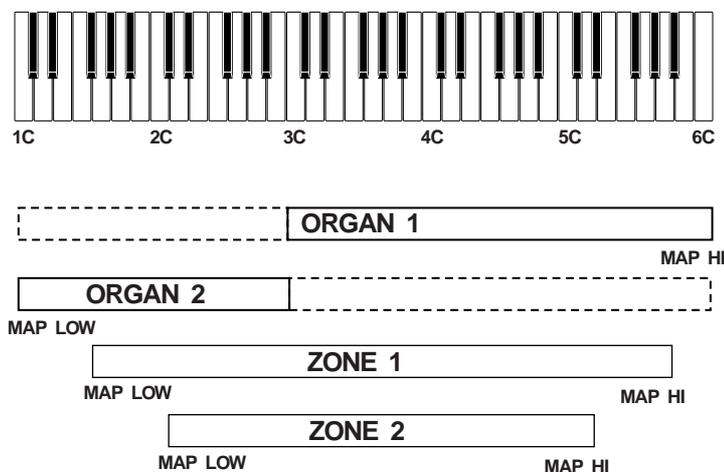
XB-1 のシステム構成

システム概要

XB-1はシングル・マニュアルのコンボオルガンですが、内部ではB-3のようなアッパー、ロワー、ペダルの3段鍵盤のオルガンに対応しています。ドロワー・セレクトによりアッパー、ロワー、ペダルのドロワー・レジストレーションを変化させ、外部のMIDI機器よりそれぞれのMIDIチャンネルを指定することで3つの鍵盤のドロワーの音を出すことができます。XB-1本体のみではスプリット機能により、アッパー+ロワー、アッパー+ペダル、ロワー+ペダルの組み合わせでオルガンを演奏することができます。

MIDI と鍵盤

XB-1は、1つの鍵盤にオルガンの音を割り当てているORGAN 1（工場出荷時：アッパー）、ORGAN 2（工場出荷時：ロワー）と外部音源をコントロールするためのZONE 1、2の4つのMIDIチャンネルを持っています。ORGAN 1、2は、特にシーケンサーの録音/再生の時に使用します。ZONE 1、ZONE 2チャンネルは外部音源を鳴らすためのチャンネルであり、MIDI OUTのみのチャンネルです。マスター・キーボードに匹敵するパラメータをそれぞれのチャンネルに独立して設定でき、これらのパラメータをプリセットにプログラムすることができます。



| | |
|-------------|-------------------------------|
| < MIDI IN > | < MIDI OUT > |
| UPPER チャンネル | ORGAN 1(UPPER チャンネル) |
| LOWER チャンネル | ORGAN 2(LOWER または PEDALチャンネル) |
| PEDAL チャンネル | ZONE 1 |
| | ZONE 2 |

ORGAN 1、2をLOWER、PEDALチャンネルにも設定できますが、XB-1を2台使ったフルマニュアル・オルガン仕様の特別なモードですので、通常はお使いにならないで下さい。通常UPPERチャンネルはXB-1の「ベーシック・チャンネル」と呼ばれ、XB-1のプリセットパラメータの送受信のチャンネルとして使用されます。ORGAN 1、2をLOWER、PEDALチャンネルに設定すると、UPPERチャンネルがなくなり、プリセットのパラメータが送受信できなくなります。

グローバル・パラメータ

レスリー・パラメータ

L#1～L#5の5つのレスリープリセットの設定を行います。つまり、それぞれ特性の異なるレスリーを5台用意しておくことになります。ローターの回転速度などのレスリーに関するパラメータが用意されており、好みのレスリー効果が得られます。プリセットパラメータのレスリー・プリセット#を設定することで、どのレスリーと接続するかをプリセット単位で設定することができます。

システム・パラメータ

マスターチューン、トランスポーズやMIDIの設定などのシステム全体に関わる設定を行います。

モードについて

XB-1には以下のようなモードがあります。

- プレイモード : 通常の演奏状態のモードです。電源投入時はこのモードになっています。
- エディットモード : パラメータのエディットを行うモードです。

各パラメータの説明には、そのパラメータのエディット画面を表示するまでの操作手順が明記してあります。

例 ドローバーボイスの設定

- エディット# P11
- 操作手順 1. EDITスイッチ
2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
3. PAGE スイッチ×6

- エディット# : エディットの番号を示します。
- 操作手順 1.: EDITスイッチを1回押します。
2.: NAME/DRAWBARスイッチを5回押します。
3.: PAGE スイッチを6回押します。

この操作手順は説明用のものです。より効率良くエディット画面の移動を望まれる場合は、操作フローチャートをご覧ください。

プリセット・パラメータ・エディットモード

グローバル・パラメータ・エディット

レスリー・パラメータ・エディットモード

システム・パラメータ・エディットモード (ユティリティ)

レコードモード : エディットしたプリセット・パラメータを保存するモードです。

プリセット・パラメータ・エディットからグローバル・パラメータ・エディットへの移行またはその逆はできません。一度エディットモードから抜けてプレイモードに戻る必要があります。

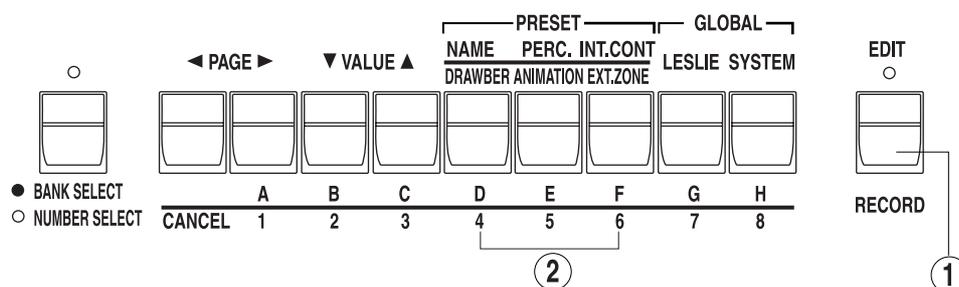
ユティリティはシステム・パラメータエディットモードの中にあります。

プリセットの設定

プリセットパラメータ

プリセットパラメータはプリセットの名前、オルガン音色、オルガンのコントロール、外部機器コントロール (MIDI OUT) に関する各種の設定がパラメータ化され1つのプリセットに記憶されています。プリセットを切り換えると、瞬時に各種のパラメータを切り換えることができます。このパラメータの設定を変更することをパラメータエディットと呼び、プリセットごとに記憶させることができます。

プリセットパラメータのエディット方法



1. EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

Select
EDIT PARAMETER

2. エディットしたいパラメータのグループを、パラメータスイッチの パラメータグループスイッチで選びます。

| | |
|-----------|--|
| NAME | - プリセットに名前をつけます。 |
| DRAWBAR | - ドローバーレジストレーションなどドローバーサウンドに関する設定をします。 |
| PERC. | - パーカッションの設定をします。 |
| ANIMATION | - ビブラート、レスリーなどのエフェクトを設定します。 |
| INT.CONT. | - スプリット、ベンドレンジスなどのエフェクトを設定します。 |
| EXT.ZONE | - MIDI OUT ゾーン・コントロールを設定します。 |

PRE 4 ~ 6 スイッチは同じスイッチを押すことで上下 2 段のパラメータグループが切り換わります。

プリセットパラメータのエディットからグローバルパラメータ・エディット (レスリーシステム) への移行はできません。

ディスプレイ画面が、プリセットパラメータエディットの画面に切り換わります。

P11 DB VOICING
UM B3-TYPE

[P11] はエディット# (ナンバー) を示します。

- 3 . PAGE スイッチによりパラメータを選び、 VALUE スイッチで設定を変更させます。
- 4 . EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

A-1.JIMMY
L#1 UM

ディスプレイのA-1のすぐ後ろの [.] はプリセットエディットモードでパラメータの設定の一部、または全部が変更されたとき表示されます。

- 1 . レコードをしないで電源を切ったり、プリセットスイッチを押すと変更したパラメータ内容は変更する前のパラメータに戻ってしまいます。
- 2 . レコードの方法はプリセットのレコードの項をご覧ください。

プリセットネーム (PRESET NAME)

プリセットに名前をつけます。

エディット# P1
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ

P1 PRESET NAME
 A-1 JIMMY 1

PAGE スイッチによって文字を入力する位置にアンダーバーを移動し、VALUE スイッチによって入力する文字を選択します。

入力出来る文字数は最大10文字で、大文字アルファベット、小文字アルファベット、数字、* # & - の順に表示されます。

PAGE スイッチによってアンダーバーが10文字を越えると、P2のエディット画面に移行します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|---------------|--------|
| PRESET NAME | ABCDEFGHIJKLM | P1 |
| | NOPQRSTUVWXYZ | |
| | abcdefghijklm | |
| | nopqrstuvwxyz | |
| | 0123456789 | |
| | *#&- | |

CANCELは名前の変更ができません。

ドロージャー

ドロージャーレジストレーション (DRAWBAR REGISTRATION)

ドロージャーのレジストレーションを設定します。

アッパーパートの設定

エディット# P2
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×2
 (あるいはDRAWBAR SELECT UPPERスイッチ)

P2 DB REGIST1
 UM 888000000

左から順に16',5-1/3',8',4',2-2/3',2',1-3/5',1-1/3',1'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドロージャーを動かしてレジストレーションを設定します。

ローパートの設定

エディット# P3
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . NAME/DRAWBARスイッチ×2 (あるいはDRAWBAR SELECT LOWERスイッチ)
 3 . PAGE>スイッチ

P3 DB REGIST2
 LM 858000000

左から順に16',5-1/3',8',4',2-2/3',2',1-3/5',1-1/3',1'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドロバーを動かして、レジストレーションを設定します。

ペダルパートの設定

エディット# P4
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . NAME/DRAWBARスイッチ×2 (あるいはDRAWBAR SELECT PEDALスイッチ)
 3 . PAGE>スイッチ

P4 DB REGIST3
 PK 86

左から順に16',8'のレジストレーションの設定値が表示されます。本体のドロバーを動かして、レジストレーションを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|-------|------------|
| DRAWBAR REGIST | 0 ~ 8 | P2, P3, P4 |

ドロバーアタック&キークリック

ドロバーのアタック（音の立ち上がり）の速さ及びキークリック音の大きさを設定します。

アッパーパートの設定

エディット# P5
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5

P5 DB ATTACK1
 UM NORMAL CLICK

ロワーパートの設定

エディット# P6
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ

P6 DB ATTACK2
 LM NORMAL CLICK

ペダルパートの設定

エディット# P7
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×2

P7 DB ATTACK3
 PK NORMAL CLICK

VALUE スイッチによって、ドロバーアタック&キークリックの種類をSLOW ATTACK（音の立ち上がりが遅い）、NO CLICK（キークリック音がない）、SOFT CLICK（小さいキークリック音）、NORMAL CLICK（標準のキークリック音）、MAX CLICK（最も大きいキークリック音）の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|--------------|------------|
| DB ATTACK | SLOW ATTACK | P5, P6, P7 |
| | NO CLICK | |
| | SOFT CLICK | |
| | NORMAL CLICK | |
| | MAX CLICK | |

ドロワーサスティン (DRAWBAR SUSTAIN)

鍵盤から指をはなしたときの余韻 (サスティン) の長さを設定します。

アッパーパートの設定

エディット# P8
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ × 5
 3. PAGE スイッチ × 3

P8 DB SUSTAIN1
 UM OFF

ロワーパートの設定

エディット# P9
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ × 5
 3. PAGE スイッチ × 4

P9 DB SUSTAIN2
 LM OFF

ペダルパートの設定

エディット# P10
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ × 5
 3. PAGE スイッチ × 5

P10 DB SUSTAIN3
 PK OFF

VALUE スイッチによって、ドロワーサスティンの種類をOFF (サスティンがない)、SHORT (短いサスティン)、MID (標準のサスティン)、LONG (長いサスティン) の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------|-------|-------------|
| DB SUSTAIN | OFF | P8, P9, P10 |
| | SHORT | |
| | MID | |
| | LONG | |

ドロワーボイス (DRAWBAR VOICE)

ドロワーの音色モードを選択します。

アッパーパートの設定

エディット# P11
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×6

P11 DB VOICING1
 UM B3-TYPE

ロワーパートの設定

エディット# P12
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×7

P12 DB VOICING2
 LM B3-TYPE

VALUE スイッチによって、ドロワーの音色モードを伝統的なBタイプの音源 (B3-TYPE)、透明感のあるサイン波の音源 (MELLOW)、及びより明るさを帯びた音源 (BRITE) のの中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------|---------|----------|
| DB TYPE | B3-TYPE | P11, P12 |
| | MELLOW | |
| | BRITE | |

ペダルパートの設定

エディット# P13
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×8

P13 DB VOICING3
 PK NORMAL

VALUE スイッチによって、ドロワーの音色モードを通常のペダル音色 (NORMAL)、及びよりやわらかいペダル音色 (MUTED) のの中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------|--------|--------|
| DB TYPE | NORMAL | P13 |
| | MUTED | |

ドロワーフォールドバック

B3-TYPEの音源を選択している場合に、ドロワーの低域及び高域の設定範囲の音を繰り返します。

アッパーパートの設定

エディット# P14
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×9

P14 DB FOLDBACK1
 UM LOW NOTE 2C

エディット# P15
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×10

P15 DB FOLDBACK2
 UM HIGH NOTE 4G

ロワーパートの設定

エディット# P16
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×11

P16 DB FOLDBACK3
 LM LOW NOTE 2C

エディット# P17
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. NAME/DRAWBARスイッチ×5
 3. PAGE スイッチ×12

P17 DB FOLDBACK4
 LM HIGH NOTE 4G

低域の設定

16'の最低域 1 オクターブの設定範囲の音をオクターブ上の音程で繰り返します。

VALUE スイッチによって、1C～2Cの範囲で設定値を選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|-------|----------|
| DB FOLDBACK LO | 1C～2C | P14, P16 |

高域の設定

1'の最高域 1 オクターブ半の設定範囲の音をオクターブ下の音程で繰り返します。
同時に異なるフィート律のドロバー（2-2/3'以上のドロバー）の同一音程範囲も繰り返されます。

VALUE スイッチによって、4G ~ 5Cの範囲で設定値を選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット # |
|----------------|---------|----------|
| DB FOLDBACK HI | 4G ~ 5C | P15, P17 |

パーカッション

パーカッションディケイ

パーカッションの減衰時間を設定します。

パーカッションディケイ スロースピード

エディット# P18
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ

P18 PERC. PARAM1
 DECAY S_SPD. 8

VALUE スイッチによって、パーカッションスロー時（PERCUSSION FASTスイッチがOFFの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの減衰時間を1～8の範囲で設定します。

値を大きくするほど、パーカッションの減衰時間が遅くなります。

パーカッションディケイ ファーストスピード

エディット# P19
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ

P19 PERC. PARAM2
 DECAY F_SPD. 3

VALUE スイッチによって、パーカッションファースト時（PERCUSSION FASTスイッチがONの時）のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの減衰時間を1～8の範囲で設定します。

値を大きくするほど、パーカッションの減衰時間が遅くなります。

スロースピードの設定よりもファーストスピードの設定の方が大きい場合は、スローとファーストのスイッチの機能が逆になります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------|------|----------|
| PERCUSSION DECAY | 1～8 | P18, P19 |

パーカッションレベル

パーカッションの音量を調節します。

パーカッションレベル ノーマル

エディット# P20
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×2

P20 PERC. PARAM3
 LEVEL NORM. 11

VALUE スイッチによって、パーカッションノーマル時 (PERCUSSION SOFTスイッチがOFFの時) のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を1～16の範囲で調節します。値を大きくするほど、パーカッションの音量が大きくなります。

パーカッションレベル ソフト

エディット# P21
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×3

P21 PERC. PARAM4
 LEVEL SOFT 8

VALUE スイッチによって、パーカッションソフト時 (PERCUSSION SOFTスイッチがONの時) のセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を1～16の範囲で調節します。値を大きくするほど、パーカッションの音量が大きくなります。

ノーマルの設定よりもソフトの設定の方が大きい場合は、ノーマルとソフトのスイッチの機能が逆になります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------|------|----------|
| PERCUSSION LEVEL | 1～16 | P20, P21 |

パーカッションタッチ

パーカッションのタッチを設定します。

エディット# P22
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE スイッチ×4

P22 PERC. PARAM5
 TOUCH ON

VALUE スイッチによって、レガートで鍵盤を弾いた場合にパーカッション効果を出す (OFF) か、出さない (ON) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------|---------|--------|
| PERCUSSION TOUCH | ON, OFF | P22 |

パーカッションベロシティ

パーカッションのベロシティを設定します。

エディット# P23
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE スイッチ×5

P23 PERC. PARAM6
 VELOCITY OFF

VALUE スイッチによって、鍵盤を弾く強さ (速度 : ベロシティ) によりパーカッションの音量をコントロールする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------------|---------|--------|
| PERCUSSION VELOCITY | ON, OFF | P23 |

パーカッション ドローバーキャンセル

パーカッションがONの時のドローバーキャンセルを設定します。

トーンホイール方式のハモンドオルガンは、独立発振方式によってドローバーの音色を作り出し、パーカッション専用の音源を持っていませんでした。しかしパーカッションの音色を作り出すために、パーカッションがONになったときには1'の音色をキャンセルし、この回路をパーカッションに充当する構造になっていました。このトーンホイールオルガン特有の機能を再現するものです。

エディット# P24
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE スイッチ×6

P24 PERC. PARAM7
 DB CANCEL ON

VALUE スイッチによって、セカンドパーカッションあるいはサードパーカッションがONの場合ドローバーの1'の音色をキャンセルする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| DB CANCEL | ON, OFF | P24 |

パーカッション ドローバーレベル

パーカッションがONの時のドローバーレベルを設定します。

B-3等の機種ではパーカッションを動作させると、ドローバーの音量はわずかに小さくなります。この機能を再現するものです。

エディット# P25
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE スイッチ×7

P25 PERC. PARAM8
 DB LEVEL -3db

VALUE スイッチによって、セカンドパーカッションあるいはサードパーカッションがONの場合ドローバーの音量を少し小さくする (-3db) か、ドローバーの音量を変化させない (0db) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------|------------|--------|
| DB LEVEL | - 3db, 0db | P25 |

パーカッションキートラック

パーカッションのキートラックを設定します。

エディット# P26
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PERC./ANIMATIONスイッチ
 3. PAGE スイッチ×8

P26 PERC. PARAM9
 KEY TRACKING ON

VALUE スイッチによって、鍵盤の高音域になるほどセカンドパーカッション及びサードパーカッションの音量を小さくする (ON) か、音量を変化させない (OFF) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| KEY TRACK | ON, OFF | P26 |

アニメーション

ビブラートスピード

ビブラートの速さを選択します。

エディット# P27
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2

P27 VIBRATO
 SPEED NORMAL

VALUE スイッチによって、ビブラートの速さをSLOW（最も遅いビブラート）、MID（少し遅いビブラート）、NORMAL（標準のビブラート）、MIDFAST（少し速いビブラート）、FAST（最も速いビブラート）の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|---------|--------|
| VIBRATO SPEED | SLOW | P27 |
| | MID | |
| | NORMAL | |
| | MIDFAST | |
| | FAST | |

レスリープリセット

デジタルレスリーのプリセットを選択します。

レスリープリセットのパラメータは、グローバルエディットのレスリーエディットで設定します。

エディット# P28
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2

P28 LESLIE1
 PRESET L#1

VALUE スイッチによって、レスリーの種類をプリセットナンバーL#1～L#5の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|---------|--------|
| LESLIE PRESET | L#1～L#5 | P28 |

リバーブパラメータ 1 (モード)

オルガン全体にかかるリバーブ (残響効果) のモードを選択します。

エディット# P29
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2

P29 REVERB1
 MODE LIVE

VALUE スイッチによって、リバーブのモードを
 ROOM (通常の部屋の音場をシミュレートした最も短い残響)
 LIVE (ライブスタジオの音場をシミュレートした残響)
 HALL (ホールの音場をシミュレートした長い残響)
 CHURCH (教会の音場をシミュレートした最も長い残響)
 の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|--------|--------|
| REVERB 1 MODE | ROOM | P29 |
| | LIVE | |
| | HALL | |
| | CHURCH | |

リバーブパラメータ 2 (レベル)

オルガン全体にかかるリバーブ (残響効果) のレベルを設定します。

エディット# P30
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2

P30 REVERB2
 LEVEL 0

VALUE スイッチまたはREVERBつまみによって、リバーブのレベルを0～15の範囲で設定します。値を大きくするほど、残響音が大きくなります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|------|--------|
| REVERB 2 LEVEL | 0～15 | P30 |

オーバードライブ

アンプやレスリーに対して入力オーバー気味のダイナミックな音の効果を作ります。

| |
|-----------------------------|
| エディット# P31 |
| 操作手順 |
| 1 . EDITスイッチ |
| 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2 |
| 3 . PAGE スイッチ × 4 |

| |
|--------------------------|
| P31 OVERDRIVE LEVEL 0 |
|--------------------------|

VALUE スイッチまたはOVER DRIVEつまみによって、オーバードライブのレベルを0～15の範囲で設定します。値を大きくするほど、オーバードライブ効果が大きくなります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|------|--------|
| OVERDRIVE LEVEL | 0～15 | P31 |

トレブルコントロール

高音域（トレブル）の周波数成分レベルを増減させて、音質を変化させます。

| |
|-----------------------------|
| エディット# P32 |
| 操作手順 |
| 1 . EDITスイッチ |
| 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ × 2 |
| 3 . PAGE スイッチ × 5 |

| |
|-----------------|
| P32 TREBLE 5 |
|-----------------|

VALUE スイッチによって、高音域の周波数成分レベルを1～6の範囲で設定します。値を小さくするほど、高音域の周波数成分レベルが減衰し音色がやわらかくなります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------|------|--------|
| TREBLE | 1～6 | P32 |

フェイズコントロール

フェイズコントロールを設定します。

エディット# P33
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . PERC./ANIMATIONスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×6

P33 OSCILLATOR
 PHASE CNT. ON

VALUE スイッチによって、ON / OFFを設定します。

- ON : トーンホイールの独立発振器のように、位相が合った波形が得られます。
 これは常時発振している発振器に、キーオン時に信号ラインをスイッチングすることになり、ノイズが発生する可能性があります。
- OFF : キーオンと同時に発振が開始するため、位相の合った波形は得られません。
 キーオン時のノイズがなく、なめらかな発音が得られます。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|---------|--------|
| PHASE CONTROL | ON, OFF | P33 |

インターナル・コントロール

スプリットポイント

鍵盤データを2つに分ける境目（スプリットポイント）を設定します。

エディット# P34
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ

P34 SPLIT1
 SPLIT POINT 2B

鍵盤データを2つに分ける境目を左の領域の上限のキーナンバーで設定します。

VALUE スイッチによって、1C～6Cの範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|-------|--------|
| SPLIT POINT | 1C～6C | P34 |

スプリットモード

スプリットポイントで分けられた左右の領域に鍵盤を割り当てます。

エディット# P35
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3. PAGE スイッチ

P35 SPLIT2
 MODE UM+LM

VALUE スイッチによって、スプリットポイントで分けられた左右の領域の鍵盤をUM + LM, UM + PK, LM + PKに設定します。

設定された音色に割り当てられたMIDIチャンネルで、MIDIデータの送受信が有効となります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------|---------|--------|
| SPLIT MODE | UM + LM | P35 |
| | UM + PK | |
| | LM + PK | |

UM : アッパーマニュアル

LM : ロウーマニュアル

PK : ペダルキーボード

ロワーオクターブ

スプリットポイントで分けられた左の領域の音程をオクターブアップします。

スプリットがOFFの時に、ロワーパートに割り当てられたMIDIチャンネルの音程がオクターブアップします。

エディット# P36
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 2

P36 LM OCTAVE
 OCTAVE UP 0

VALUE スイッチによって、スプリットポイントで分けられた左の領域の音程を0～2の範囲でオクターブアップします。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------|------|--------|
| LOWER OCTAVE | 0～2 | P36 |

ベンドレングス

ピッチベンダーによりピッチ（音の高さ）を変化させたときの最大変化幅を設定します。

アッパーパートの設定

エディット# P37
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ

P37 BENDLENGTH1
 UM 1

ロワーパートの設定

エディット# P38
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ

P38 BENDLENGTH2
 LM 1

ペダルパートの設定

エディット# P39
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×5

P39 BENDLENGTH3
 PK 1

VALUE スイッチによって、ピッチベンダーによりピッチを変化させたときの最大変化幅を0～12の範囲で設定します。値は12で1オクターブ変化し、0にするとピッチは変化しません。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------|------|---------------|
| BENDLENGTH | 0～12 | P37, P38, P39 |

モジュレーションモード

モジュレーションホイールに割り当てるモードを選択します。

エディット# P40
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×6

P40 MOD. MODE
 OFF

VALUE スイッチによって、モジュレーションホイールに割り当てるモードをOFF（割り当てない）、LES S/F（レスリー スロー/ファースト）、及びOVERDRIVE（オーバードライブ）の中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|-----------|--------|
| MODULATION MODE | OFF | P40 |
| | LES S/F | |
| | OVERDRIVE | |

オルガンゾーンキーマップ

オルガン内部の音源を鳴らすための鍵盤の演奏範囲を設定します。

オルガンゾーンキーマップロー

エディット# P41
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×7

P41 ORG.ZONE-1
 KEYMAP LOW 1C

VALUE スイッチによって、オルガン内部の音源を鳴らすための下限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

オルガンゾーンキーマップハイ

エディット# P42
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ×8

P42 ORG.ZONE-2
 KEYMAP HI 6C

VALUE スイッチによって、オルガン内部の音源を鳴らすための上限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

アッパー、ロー及びペダルに割り当てられたMIDIチャンネルについては、このオルガンゾーンキーマップで設定された範囲でノートデータが送受信されます。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------------|-------|----------|
| ORGAN ZONE KEYMAP | 1C～6C | P41, P42 |

エクスターナル・コントロール

ゾーンチャンネル

外部音源を鳴らすためのゾーン1及びゾーン2のMIDIチャンネルを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P43
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 2

P43 ZONE1-1
CHANNEL 1

ゾーン2の設定

エディット# P56
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 3

P56 ZONE2-1
CHANNEL 1

VALUE スイッチによって、外部音源を鳴らすためのゾーン1及びゾーン2のMIDIチャンネルを1～16、OFFの範囲で設定します。値をOFFにすると、MIDIデータは送信しません。なお、ゾーン1、ゾーン2、アッパー、ロワー及びペダルを同じMIDIチャンネルに設定すると、MIDIデータが正しく送信されないことがあります。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------|-----------|----------|
| ZONE CHANNEL | 1～16, OFF | P43, P56 |

ゾーンプログラムナンバー

ゾーン1及びゾーン2のプログラムナンバーを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P44

操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 2
3 . PAGE スイッチ

P44 ZONE1-2
PROGRAM# 0

ゾーン2の設定

エディット# P57

操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 3
3 . PAGE スイッチ

P57 ZONE2-2
PROGRAM# 0

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のプログラムナンバーを0～127の範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------------|-------|----------|
| ZONE PROGRAM NUMBER | 0～127 | P44, P57 |

ゾーンバンクナンバー MSB

ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバー-MSBを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P45

- 操作手順
1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 2
 3. PAGE スイッチ × 2

P45 ZONE1-3
BANK# MSB 0

ゾーン2の設定

エディット# P58

- 操作手順
1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 3
 3. PAGE スイッチ × 2

P58 ZONE2-3
BANK# MSB 0

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバー-MSBを0～127の範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------------|-------|----------|
| ZONE BANK NUMBER MSB | 0～127 | P45, P58 |

ゾーンバンクナンバー LSB

ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーLSBを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P46

操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 2
3 . PAGE スイッチ × 3

P46 ZONE1-4
BANK# LSB 0

ゾーン2の設定

エディット# P58

操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ × 3
3 . PAGE スイッチ × 2

P59 ZONE2-4
BANK# LSB 0

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2のバンクナンバーLSBを0～127の範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------------|-------|----------|
| ZONE BANK NUMBER LSB | 0～127 | P46, P59 |

ゾーンキーマップロー

ゾーン1及びゾーン2の鍵盤の演奏範囲の下限を設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P47
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×4

P47 ZONE1-5
 KEY MAP LO 1C

ゾーン2の設定

エディット# P60
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×4

P60 ZONE2-5
 KEY MAP LO 1C

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の下限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------|-------|----------|
| ZONE KEY MAP LOW | 1C～6C | P47, P60 |

ゾーンキーマップハイ

ゾーン1及びゾーン2の鍵盤の演奏範囲の上限を設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P48
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×5

P48 ZONE1-6
 KEY MAP HI 6C

ゾーン2の設定

エディット# P61
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×5

P61 ZONE2-6
 KEY MAP HI 6C

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の上限のキーナンバーを1C～6Cの範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------------|-------|----------|
| ZONE KEY MAP HIGH | 1C～6C | P48, P61 |

ゾーンキーオクターブ

ゾーン1及びゾーン2の音程をオクターブ単位で設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P49
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×6

P49 ZONE1-7
 KEY OCTAVE 0

ゾーン2の設定

エディット# P62
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×6

P62 ZONE2-7
 KEY OCTAVE 0

VALUE スイッチによって、ゾーン1及びゾーン2の音程を -4 ~ +4の範囲で設定します。
 値はオクターブ単位で変化します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|---------|----------|
| ZONE KEY OCTAVE | -4 ~ +4 | P49, P62 |

ゾーンボリューム最大

ゾーン1及びゾーン2のエキスペッションペダルで送信する音量の最大値を設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P50
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×7

P50 ZONE1-8
 VOLUME MAX 127

ゾーン 2 の設定

エディット# P63
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×7

P63 ZONE2-8
 VOLUME MAX 127

VALUE スイッチによって、ゾーン 1 及びゾーン 2 のエクスプレッションペダルで送信する音量の最大値を64～127の範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|--------|----------|
| ZONE VOLUME MAX | 64～127 | P50, P63 |

ゾーンボリューム最小

ゾーン 1 及びゾーン 2 のエクスプレッションペダルで送信する音量の最小値を設定します。

ゾーン 1 の設定

エディット# P51
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×8

P51 ZONE1-9
 VOLUME MIN 0

ゾーン 2 の設定

エディット# P64
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×8

P64 ZONE2-9
 VOLUME MIN 0

VALUE スイッチによって、ゾーン 1 及びゾーン 2 のエクスプレッションペダルで送信する音量の最小値を0～64の範囲で設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|------|----------|
| ZONE VOLUME MIN | 0～64 | P51, P64 |

ゾーンベロシティカーブ

ゾーン1及びゾーン2のベロシティカーブを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P52
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×9

P52 ZONE1-10
 VELOCITY CURVE 1

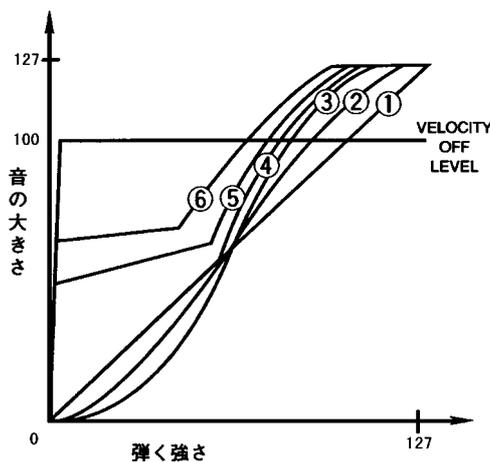
ゾーン2の設定

エディット# P65
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×9

P65 ZONE2-10
 VELOCITY CURVE 1

VALUE スイッチによって、鍵盤を弾く強さ（速度：ベロシティ）により音量及び音質を変化させるカーブの種類をOFF、CURVE1～CURVE6の中から選択します（別表参照）。値をOFFにすると、鍵盤を弾く強さに関わらずベロシティは100に固定されます。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------------|--------------------|----------|
| ZONE VELOCITY CURVE | OFF, CURVE1～CURVE6 | P52, P65 |



1ピアノのようなダイナミックレンジの広い音色に適しています。

2から4になるほどタッチが軽くなります。

5、6は、弱いタッチのときのばらつきがないので、ストリングスのような持続音系に適しています。

ゾーンベンダースイッチ

ゾーン1及びゾーン2のベンダースイッチを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P53
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×10

P53 ZONE1-11
 BENDER ON

ゾーン2の設定

エディット# P66
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×10

P66 ZONE2-11
 BENDER ON

VALUE スイッチによって、ピッチベンダーによるMIDIデータを送信する（ON）か、しない（OFF）かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------------|---------|----------|
| ZONE BENDER SWITCH | ON, OFF | P53, P66 |

ゾーンモジュレーションスイッチ

ゾーン1及びゾーン2のモジュレーションスイッチを設定します。

ゾーン1の設定

エディット# P54
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×11

P54 ZONE1-12
 MODULATION ON

ゾーン 2 の設定

エディット# P67
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×1 1

P67 ZONE2-12
 MODULATION ON

VALUE スイッチによって、モジュレーションホイールによるMIDIデータを送信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------------|---------|----------|
| ZONE MODULATION SWITCH | ON, OFF | P54, P67 |

ゾーンダンパースイッチ

ゾーン 1 及びゾーン 2 のダンパースイッチを設定します。

ゾーン 1 の設定

エディット# P55
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×1 2

P55 ZONE1-13
 DAMPER ON

ゾーン 2 の設定

エディット# P68
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . INT.CONT./EXT.ZONEスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×1 2

P68 ZONE2-13
 DAMPER ON

VALUE スイッチによって、ダンパーペダルによるMIDIデータを送信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------------|---------|----------|
| ZONE DAMPER SWITCH | ON, OFF | P55, P68 |

プリセットのレコード（プリセットの設定を保存する）

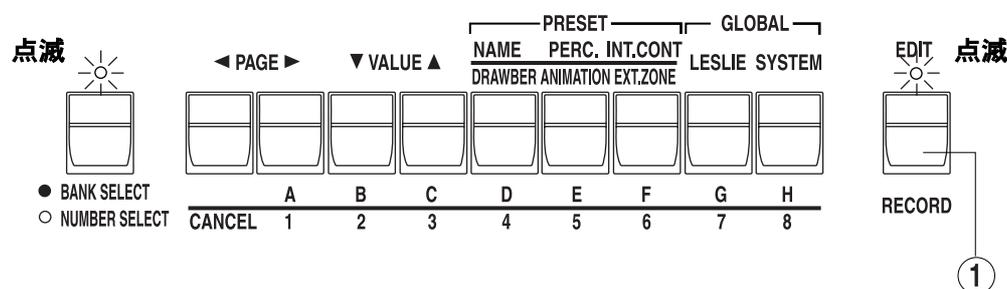
エディットしたプリセット・パラメータを保存しておくことができます。XB-1ではプリセット・パラメータを保存することをレコードするといいます。エディットしたプリセット・パラメータを保存しないまま、他のプリセットを選んだり、電源を切ると設定した内容が消えてしまいます。エディットした設定を記憶しておきたい場合は必ずレコードしてください。

このレコードが必要なのはプリセット・パラメータの設定時で、グローバル・パラメータは設定時の値がそのまま記憶されます。

プリセット・パラメータをレコードする

エディットしたプリセットはどのプリセットへもレコードできます。エディットモードを抜けて、プレイモードで行います。ただし、キャンセルへのレコードはできません。

レコードの操作



1. プレイモードで EDITスイッチを押し続けるとBANK SELECTとEDITのLEDが同時に点滅し、レコードモードにはいります。ディスプレイがレコードの画面に変わります。

A-1 PRESET REC.
Select BANK

A-1は現在のプリセット#を示しています

2. プリセットのバンクをPRESETスイッチのA～Hで選びます。
BANK SELECTのLEDが消灯し、ディスプレイがプリセットナンバー選択の画面に切り換わります。

B-1 PRESET REC.
Select NUMBER

B-1のBは選択されたプリセットバンクを示しています

- 3 . プリセットのナンバーをPRESETスイッチの1～8で選びます。
ディスプレイがレコード確認の画面に切り換わります。

B-3 PRESET REC.
Are you sure?()

B-3は保存先のプリセットを示しています。

- 4 . VALUE スイッチを押すと保存が実行され、EDITのLEDが消灯します。
プリセットが保存先のプリセットに切り換わり、保存が終了しました。

B-3 New PRESET
L#1 UM

レコードを中止する場合はEDITスイッチを押します。
ディスプレイはレコードモードに入る前のプレイモードの画面に戻ります。

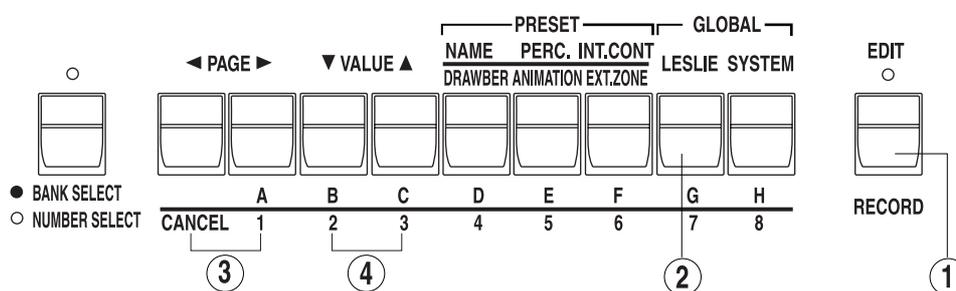
X B - 1 全体の設定

グローバルパラメータは全体に関わる設定で、レスリーパラメータとシステムパラメータがあります。これらのパラメータのレコードはしませんが、電源を切っても設定値は保存されます。

レスリー・パラメータ

レスリー・プリセットは、ローターの回転速度などのレスリーに関するパラメータを設定し、好みの特性のレスリーを作るのと同じことです。L#1~5はレスリープリセット#（ナンバー）と呼び、5台のレスリーに番号を付け、用意したことになります。プリセットパラメータのレスリープリセット#を設定することで、どのレスリーと接続するかをプリセット単位で設定することができます。

レスリー・パラメータのエディット方法



1. EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

Select
EDIT PARAMETER

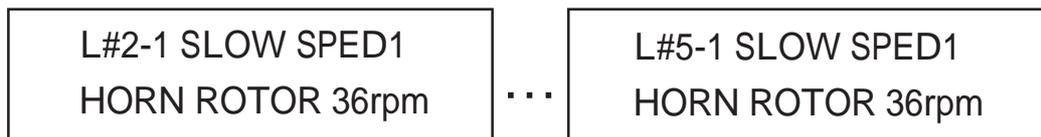
2. LESLIEスイッチを押します。
ディスプレイ画面が、レスリーパラメータエディットの画面に切り換わります。

L#1-1 SLOW SPED1
HORN ROTOR 36rpm

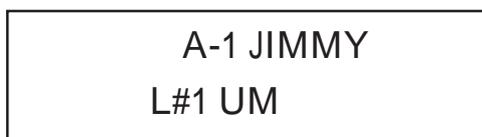
[L#1]はレスリープリセットナンバーを示し、[-1]はレスリーパラメータナンバーを示します。

[L#1-1]をエディット#（ナンバー）と呼びます。

LESLIEスイッチを再び押すことでエディットするレスリープリセット#を切り換えます。



- 3 . PAGE スイッチによりパラメータを選び、VALUE スイッチで設定を変更させます。
- 4 . EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

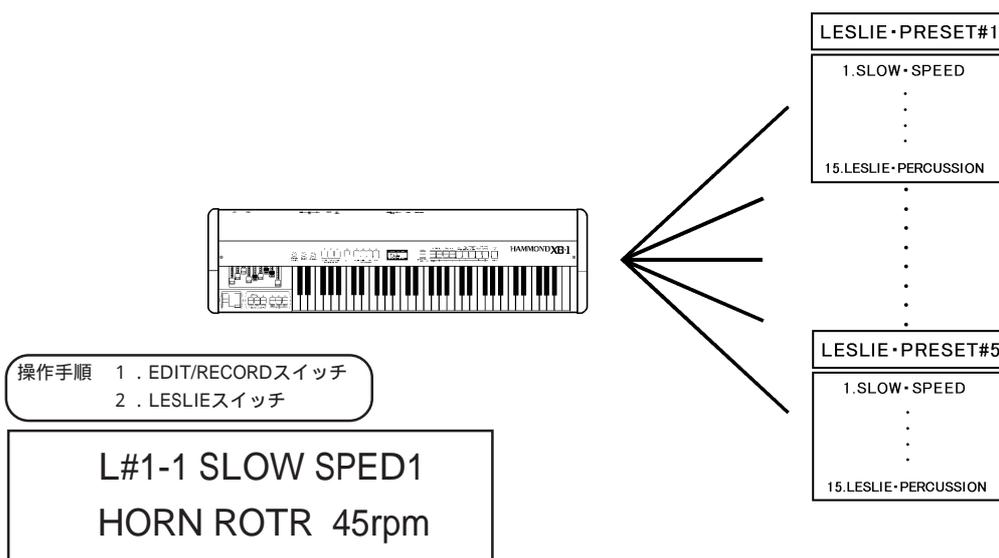


- 1 . レスリーパラメータは電源を切っても失われません。
- 2 . レスリーパラメータのエディットからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

レスリープリセット

レスリープリセット# (LESLIE PRESET NUMBER)

レスリープリセット#を選択します。(XB-1は5種類のレスリープリセットを作ることができます。1つのレスリープリセットには、SLOW・SPEEDからLESLIE・PERCUSSIONまでの15個のパラメータを設定することができます。



LESLIEスイッチを押すと、レスリープリセット#を変更できます。

| |
|----------------------|
| 機能名 |
| LESLIE PRESET NUMBER |

スロースピード (SLOW SPEED)

ローターのスロー回転速度を設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-1 (L#2-1 ~ L#5-1)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ

L#1-1 SLOW SPED1
 HORN ROTR 45rpm

VALUE スイッチによって、0と24～48rpm間で、3rpmずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|---------------------------|-------------------------------|
| SLOW SPEED (HORN ROTOR) | 0,24 ~ 48rpm (± 3rpm/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-2 (L#2-2 ~ L#5-2)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 1

L#1-2 SLOW SPED2
 BASS ROTR 48rpm

VALUE スイッチによって、0と24～48rpm間で、3rpmずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|---------------------------|-------------------------------|
| SLOW SPEED (HORN ROTOR) | 0,24 ~ 48rpm (± 3rpm/VALUE) |

ファーストスピード (FAST SPEED)

ローターのファースト回転速度を設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-3 (L#2-3 ~ L#5-3)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE スイッチ×2

L#1-3 FAST SPED1
 HORN ROTR 435rpm

VALUE スイッチによって、0と375～435rpm間で3rpmずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|-------------------------|-------------------------------|
| FAST SPEED (HORN ROTOR) | 0,375 ~ 435rpm (± 3rpm/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-4 (L#2-4 ~ L#5-4)
 操作手順 1. EDIT/RECORDスイッチ
 2. LESLIEスイッチ
 3. PAGE スイッチ×3

L#1-4 FAST SPED2
 BASS ROTR 399rpm

VALUE スイッチによって、0と375～435rpm間で3rpmずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|-------------------------|-------------------------------|
| FAST SPEED (BASS ROTOR) | 0,375 ~ 435rpm (± 3rpm/VALUE) |

ライズタイム (RISE TIME)

ローターがスロー回転からファースト回転に安定するまでの時間を設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-5 (L#2-5 ~ L#5-5)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 4

L#1-5 RISE TIME1
 HORN ROTR 4.8s

VALUE スイッチによって、0.2 ~ 5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|------------------------|---------------------------|
| RISE TIME (HORN ROTOR) | 0.2 ~ 5.0s (± 0.2s/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-6 (L#2-6 ~ L#5-6)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LASLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 5

L#1- 6 RISE TIME2
 BASS RTOR 10.0s

VALUE スイッチによって、0.5 ~ 12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|------------------------|----------------------------|
| RISE TIME (BASS ROTOR) | 0.5 ~ 12.5s (± 0.5s/VALUE) |

フォールタイム (FALL TIME)

ローターがファースト回転からスロー回転に安定するまでの時間を設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-7 (L#2-7 ~ L#5-7)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 6

L#1-7 FALL TIME1
 HORN ROTR 4.8s

VALUE スイッチによって、0.2 ~ 5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|--------------------------|-----------------------------|
| FALL TIME (HORN ROTOR) | 0.2 ~ 5.0s (± 0.2s/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-8 (L#2-8 ~ L#5-8)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGEスイッチ × 7

L#1-8 FALL TIME2
 BASS ROTR 9.0s

VALUE スイッチによって、0.5 ~ 12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|--------------------------|------------------------------|
| FALL TIME (BASS ROTOR) | 0.5 ~ 12.5s (± 0.5s/VALUE) |

ブレーキタイム (BRAKE TIME)

ローターがファースト回転から停止するまでの時間を設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-9 (L#2-9 ~ L#5-9)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 8

L#1-9 BRK TIME1
 HORN ROTR 1.2s

VALUE スイッチによって、0.2 ~ 5.0s間で0.2sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|--------------------------|----------------------------|
| BRAKE TIME (HORN ROTOR) | 0.2 ~ 5.0s (± 0.2s/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-10 (L#2-10 ~ L#5-10)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 9

L#1-10 BRK TIME2
 BASS ROTR 10.0s

VALUE スイッチによって、0.5 ~ 12.5s間で0.5sずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|--------------------------|-----------------------------|
| BRAKE TIME (BASS ROTOR) | 0.5 ~ 12.5s (± 0.5s/VALUE) |

ボリュームバランス (VOLUME BALANCE)

ローターの音量バランスを設定します。

ホーンローターの設定

エディット# L#1-11 (L#2-11 ~ L#5-11)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 1 0

L#1-11 RTOR VOL1
 HORN ROTR -12dB

VALUE スイッチによって、0 ~ - 12dB間で1dBずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|------------------------------|---------------------------|
| VOLUME BALANCE (HORN ROTOR) | 0 ~ - 12dB (± 1dB/VALUE) |

バスローターの設定

エディット# L#1-12 (L#2-12 ~ L#5-12)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGEスイッチ × 1 1

L#1-12 RTOR VOL2
 BASS ROTR -12dB

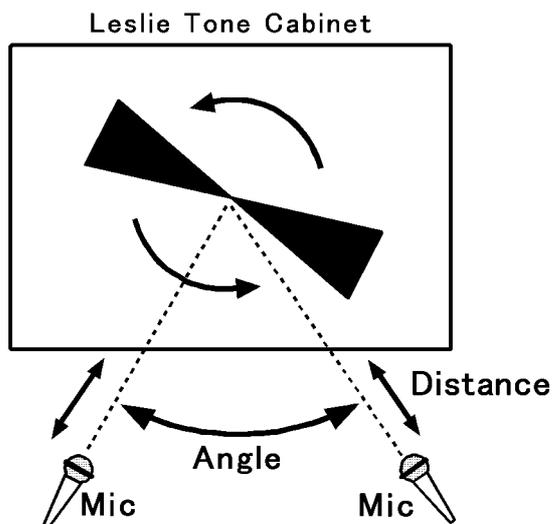
VALUE スイッチによって、0 ~ - 12dB間で1dbずつ設定することができます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|------------------------------|---------------------------|
| VOLUME BALANCE (BASS ROTOR) | 0 ~ - 12dB (± 1dB/VALUE) |

マイクセッティング (MIC. SETTING)

マイクをセッティングするアングル (角度) とディスタンス (距離) を設定します。



アングルの設定

エディット# L#1-13 (L#2-13 ~ L#5-13)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 1 2

L#1-13 MIC. SET1
 ANGLE 180 °

VALUE スイッチによって、0 ~ 180 ° 間で 30 ° ずつ設定できます。

この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|------------------------|------------------------------|
| MIC. SETTING (ANGLE) | 0 ~ 180 ° (± 30 ° / VALUE) |

ディスタンスの設定

エディット# L#1-14 (L#2-14 ~ L#5-14)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 1 3

L#1-14 MIC. SET2
 DISTANCE 0.6m

VALUE スイッチによって、0.3 ~ 2.7m間で0.3mずつ設定することができます。
 この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更
 できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|--------------------------|------------------------|
| MIC. SETTIG (DISTANCE) | 0.3 ~ 2.7 (0.3m/VALUE) |

レスリーパーカッション (LESLIE PERCCUSION)

パーカッションサウンドをレスリーから出すかどうかを設定します。パーカッション音にレス
 リー効果をかける場合にON、かけない場合にOFFにします。

エディット# L#1-15 (L#2-15 ~ L#5-15)
 操作手順 1 . EDIT/RECORDスイッチ
 2 . LESLIEスイッチ
 3 . PAGE スイッチ × 1 4

L#1-15 LES. PERC
 ON

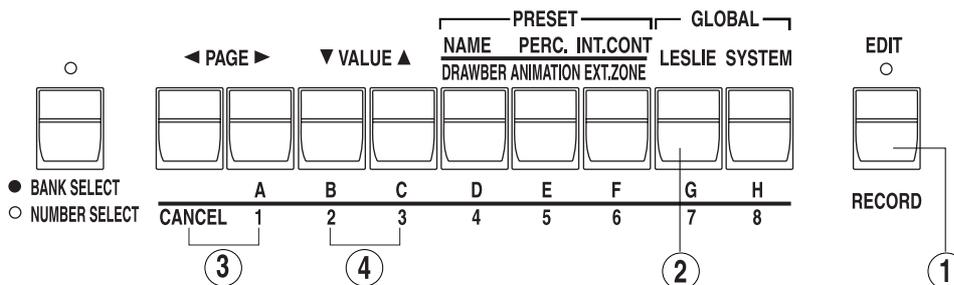
VALUE スイッチによって、ON/OFFを選択することができます。
 この状態でLESLIEスイッチを押すと、同じエディット・パラメータでレスリープリセット#を変更
 できます。

| 機能名 | 値の範囲 |
|-------------------|------|
| LESLIE PERCCUSION | ON |
| | OFF |

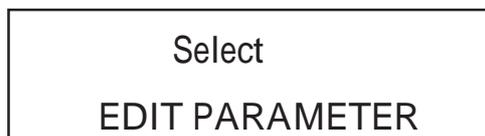
システム・パラメータ

マスターチューン、トランスポーズやMIDIの設定などのシステム全体に関わる設定を行います。これらのパラメータのレコードはしませんが、電源を切っても設定値は保存されます。ただし、トランスポーズは初期値の0となります。

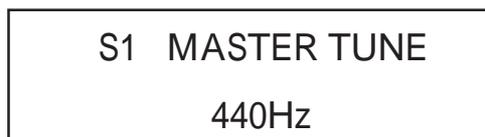
システムパラメータのエディット方法



1. EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。



2. SYSTEMスイッチを押します。
ディスプレイ画面が、システムパラメータエディットの画面に切り換わります。



[S1] はエディットナンバーを示します。

SYSTEMスイッチを再び押すことでエディットするエディット#がジャンプします。



もう1度SYSTEMスイッチを押すとユーティリティモードになります。SYSTEMスイッチを押す度にエディット#のジャンプを繰り返します。

- 3 . PAGE スイッチによりパラメータを選び、 VALUE スイッチで設定を変更させます。
- 4 . EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

| |
|---------------------|
| A-1 JIMMY L#1 UM |
|---------------------|

- 1 . システムパラメータは電源を切っても失われません。
- 2 . システムパラメータのエディットからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

マスターチューン

X B - 1 全体の音の高さを調節します。

エディット# S1
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ

S1 MASTER TUNE
 440Hz

VALUE スイッチによって、X B - 1 全体の音の高さを430 ~ 450Hz (1Hz単位) の範囲で調節します。

工場出荷時は、440Hzに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|-------------|----------|
| MASTER TUNE | 430 ~ 450Hz | P43, P56 |

チューンモード

ハモンドオルガンB-3、C-3独特のチューンを設定します。

エディット# S2
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ
 3 . PAGE スイッチ

S2 TUNE MODE
 B3-PITCH

VALUE スイッチによって、B-3、C-3独特のチューン (B3-PITCH) に設定するか、あるいは平均律 (E-TEMPERA) に設定するかを選択します。

工場出荷時は、B3-PITCHに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|-----------|--------|
| TUNE MODE | B3-PITCH | S2 |
| | E-TEMPERA | |

トランスポーズ

X B - 1 全体を移調します。

エディット#-S3
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE スイッチ×2

S3 TRANSPOSE

0

VALUE スイッチによって、X B - 1 全体を -6 ~ +6 (半音単位) の範囲で移調します。
工場出荷時は、0に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| TRANSPOSE | -6 ~ +6 | S3 |

ドローバーボリューム

ドローバーの音量を調節します。

アッパー・パートの設定

エディット#-S4
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE スイッチ×3

S4 DB VOLUME1

UM 127

ロワー・パートの設定

エディット#-S5
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE スイッチ×4

S5 DB VOLUME2

LM 127

ペダル・パートの設定

| | |
|-----------|-------------------|
| エディット#-S6 | |
| 操作手順 | 1 . EDITスイッチ |
| | 2 . SYSTEMスイッチ |
| | 3 . PAGE スイッチ × 5 |

| | |
|---------------|-----|
| S6 DB VOLUME3 | |
| PK | 127 |

VALUE スイッチによって、ドロバーの音量を0~127の範囲で設定します。
工場出荷時は、127に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|-------|------------|
| DRAWBAR VOLUME | 0~127 | S4, S5, S6 |

フットスイッチ

フットスイッチの機能を設定します。

フットスイッチ 1

| | |
|-----------|-------------------|
| エディット#-S7 | |
| 操作手順 | 1 . EDITスイッチ |
| | 2 . SYSTEMスイッチ |
| | 3 . PAGE スイッチ × 6 |

| | |
|----------------|--|
| S7 FOOT SW.1 | |
| SELECT LES S/F | |

VALUE スイッチによって、フットスイッチの機能の割り当てをPの中から選択します。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|-----------|--------|
| FOOT SWITCH 1 | LES S/F | S7 |
| | UM DAMPER | |
| | LM DAMPER | |
| | PRESET FW | |
| | OFF | |

PRESET FW (プリセットナンバーを一つずつ進める)
OFF (フットスイッチに機能を割り当てない)

フットスイッチ 2

エディット#-S8
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE スイッチ×7

S8 FOOT SW.2
 MODE1 PRESS ON

フットスイッチの極性を設定します。

VALUE スイッチによって、踏むとスイッチが入るタイプ (ON) か、あるいは踏むとスイッチが切れるタイプ (OFF) かを選択します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------------|---------|--------|
| FOOT SWITCH 2 PRESS | ON, OFF | S8 |

フットスイッチ 3

エディット#-S9
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ
 3. PAGE スイッチ×8

S9 FOOT SW.3
 MODE2 ALTERNATE

VALUE スイッチによって、フットスイッチの動作の設定を

ALTERNATE (スイッチを踏む度にON/OFFが切り換わる)

MOMENTARY (スイッチを踏んでいる間はON、離すとOFFになる)

の中から選択します。

工場出荷時は、ALTERNATEに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|-----------|--------|
| FOOT SWITCH 3 | ALTERNATE | S9 |
| | MOMENTARY | |

MIDI チャンネル

XB - 1はアッパー、ロワー、ペダルの3パート・マルチティンバーを内蔵しています。
ここではそれぞれのMIDIチャンネルを設定します。

アッパー・パートの設定

エディット# -S10
操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . SYSTEMスイッチ×2

S10 MIDI1
UM CHANNEL 1

ロワー・パートの設定

エディット# -S11
操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . SYSTEMスイッチ×2
3 . PAGE スイッチ

S11 MIDI2
LM CHANNEL 2

ペダル・パートの設定

エディット# -S12
操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . SYSTEMスイッチ×2
3 . PAGE スイッチ×2

S12 MIDI3
PK CHANNEL 3

VALUE スイッチによって、アッパー、ロワー、ペダルのMIDIチャンネルをOFF、1～16の範囲で設定します。値をOFFにすると、MIDIデータは送受信しません。
工場出荷時は、アッパー、ロワー、ペダルの順にそれぞれ1、2、3に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------|-----------|---------------|
| MIDI CHANNEL | 1～16, OFF | S10, S11, S12 |

MIDI エクスプレッション・チャンネル

エクスプレッション・コントロール専用のMIDIチャンネルを設定します。

エディット# -S13
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×3

S13 MIDI4
 EXP. CTR INDIV.

VALUE スイッチによって、エクスプレッション・コントロール専用のMIDIチャンネル INDIV. (マルチティンバーモードでアッパー、ロワー、ペダルのそれぞれにS10～S12で設定したMIDIチャンネルに対応し、個別にエクスプレッションがコントロール出来る)

CH.1～CH.16 (エクスプレッション専用のMIDIチャンネルを設定し、アッパー、ロワー、ペダルのエクスプレッションを同時にコントロール出来る)

の中から選択します。

工場出荷時は、INDIV.に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------------------|--------------------|--------|
| MIDI EXPRESSION CHANNEL | INDIV., CH.1～CH.16 | S13 |

MIDI ローカル / オムニ / NRPN

ローカル、オムニ、NRPNのON/OFFを設定します。

ローカル

エディット# -S14
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×4

S14 MIDI5
 LOCAL ON

VALUE スイッチによって、ローカルのON/OFFを設定します。
 値をOFFにすると、本体でのキーボード操作は出来なくなり、MIDI INで受信したデータによってのみ動作します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------|---------|--------|
| LOCAL | ON, OFF | S14 |

オムニ

エディット# -S15
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×5

S15 MIDI6
 OMNI ON

VALUE スイッチによって、オムニのON/OFFを設定します。
 値をONにすると全てのMIDIチャンネルのデータを受信し、値をOFFにするとマスターとなる外部MIDI機器と同じMIDIチャンネルのデータのみを受信します。
 工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------|---------|--------|
| OMNI | ON, OFF | S15 |

NRPN

エディット# -S16
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×6

S16 MIDI7
 NRPN ON

XB - 1は、必ずしもMIDIの標準的なコントロールナンバーに一致しないハモンドオルガン固有の機能を多く持っています。こうしたパーカッションやビブラート等のハモンドオルガン固有のスイッチを外部のMIDI機器に連動させるため、ハモンド独自の非標準のコントロールコードを各スイッチに割り当てており、これをNRPN（ノンレジスタードパラメータナンバー）といいます。

VALUE スイッチによって、NRPNの送受信をする（ON）か、しない（OFF）かを設定します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------|---------|--------|
| NRPN | ON, OFF | S16 |

MIDI コントロールナンバーの設定

フットスイッチ/モジュレーション/エクスプレッション/レスリーで送信するMIDIのコントロールナンバーを設定します。

フットスイッチ

エディット# -S17
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×7

S17 MIDI8
 FOOT SW CTR# 64

VALUE スイッチによって、フットスイッチのコントロールナンバーをOFFまたは1～127の範囲で設定します。工場出荷時は、#64に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------------|------------|--------|
| FOOT SW. CONTROL# | OFF, 1～127 | S17 |

モジュレーション

エディット# -S18
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×8

S18 MIDI9
 MOD. CTR# 1

VALUE スイッチによって、モジュレーションのコントロールナンバーをOFFまたは1～127の範囲で設定します。

工場出荷時は、#1に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------------|------------|--------|
| MODULATION CNTROL# | OFF, 1～127 | S18 |

エクスプレッション

エディット# S19
 操作手順 1 . DEITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×9

S19 MIDI10

EXP. CTR# 7

VALUE スイッチによって、エクスプレッションのコントロールナンバーをOFFまたは1～127の範囲で設定します。工場出荷時は、#7に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|------------|--------|
| EXP. CONTROL# | OFF, 1～127 | S19 |

レスリー

エディット# S20
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×10

S20 MIDI11

LES.S/F CTR# 92

VALUE スイッチによって、レスリー・スロー/ファーストのコントロールナンバーをOFFまたは1～127の範囲で設定します。工場出荷時は、#92に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------|------------|--------|
| LESLIE CONTROL# | OFF, 1～127 | S20 |

MIDI ゲート

外部MIDI機器からの情報を送受信するか、しないかの設定をします。(プログラムチェンジ/ドローバーチェンジ/コントロールチェンジ/Txベンダー/Txモジュレーション/Rxプレス/Rxアフタータッチ)

プログラムチェンジ

エディット# -S21
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×11

S21 MIDI12
 PRG. CHANGE ON

VALUE スイッチによって、プログラムチェンジ情報を送受信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。

工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|---------|--------|
| PROGRAM CHANGE | ON, OFF | S21 |

ドローバーチェンジ

エディット# -S22
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×12

S22 MIDI13
 DB CHANGE ON

VALUE スイッチによって、ドローバーのセッティングデータをMIDIで送受信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|---------|--------|
| DRAWBER CANGE | ON, OFF | S22 |

コントロールチェンジ

エディット# -S23
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×13

S23 MIDI14
 CTR. CHANGE ON

VALUE スイッチによって、コントロールチェンジをMIDIで送受信する(ON)か、しないか(OFF)を設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|---------|--------|
| CONTROL CHANGE | ON, OFF | S23 |

Tx(トランスミット)ベンダー

エディット# -S24
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×14

S24 MIDI15
 Tx BENDER ON

VALUE スイッチによって、ピッチベンダーをMIDIで送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| Tx BENDER | ON, OFF | S24 |

Tx(トランスミット)モジュレーション

エディット# -S25
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×2
 3. PAGE スイッチ×15

S25 MIDI16
 Tx MOD. ON

VALUE スイッチによって、モジュレーションをMIDIで送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。工場出荷時は、ONに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|---------------|---------|--------|
| Tx MODULATION | ON, OFF | S25 |

Rx (レシーブ) プレス

エディット# -S26
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 1 6

S26 MIDI17

Rx BREATH OFF

VALUE スイッチによって、プレス・コントロールをMIDIで受信する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。工場出荷時は、OFFに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| Rx BREATH | ON, OFF | S26 |

Rx (レシーブ) アフタータッチ

エディット# -S27
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 1 7

S27 MIDI18

Rx AFT OFF

VALUE スイッチによって、MIDIで受信したアフタータッチに割り当てる機能を設定します。工場出荷時は、OFFに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|------------|--------|
| Rx AFTER TOUCH | LES S/F | S27 |
| | OVER DRIVE | |
| | BEND | |
| | OFF | |

MIDI インボリューム最大

MIDIで受信したエクスプレッションが最大（127）時の音量を設定します。

エディット# ~~S28~~
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×18

S28 MIDI19
 VOLUME max. 127

VALUE スイッチによって、64～127の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、127に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|--------|--------|
| VOLUME max. | 64～127 | U28 |

MIDI インボリューム最小

MIDIで受信したエクスプレッションが最小（0）時の音量を設定します。

エディット# ~~S29~~
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×2
 3 . PAGE スイッチ×19

S29 MIDI20
 VOLUME min. 40

VALUE スイッチによって、0～64の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、40に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|------|--------|
| VOLUME min. | 0～64 | S29 |

MIDI Rx (レシーブ) トランスポーズ

MIDIで受信するノート・データを移調します。

エディット# S30
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 2 0

S30 MIDI21

Rx TRANSPOSE 0

VALUE スイッチによって、-6 ~ +6の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、0に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|--------------|---------|--------|
| Rx TRANSPOSE | -6 ~ +6 | S30 |

MIDI SOFT THRU (ソフトスルー)

MIDI INのデータをMIDI OUTから出力します。

エディット# S31
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 2 1

S31 MIDI22

SOFT THRU ON

VALUE スイッチによって、ON、OFFを切り換えます。ONでMIDI OUTされます。
 工場出荷時は、ONに設定されています。

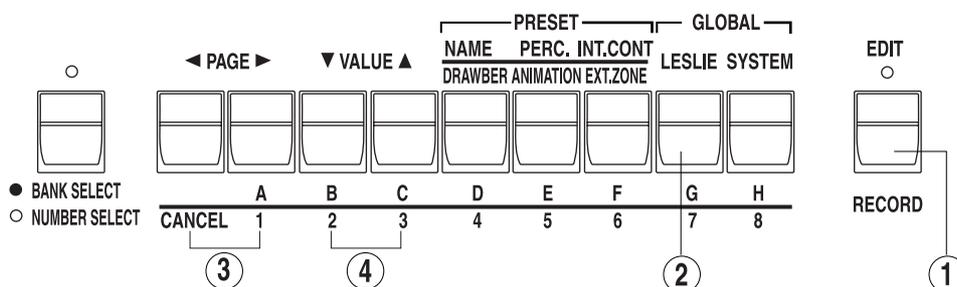
| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------|---------|--------|
| SOFT THRU | ON, OFF | S31 |

ユーティリティ

ユーティリティはデモ演奏を聴いたり、XB-1を工場出荷時の設定に戻したり、プリセットの設定を他のプリセットにコピーしたりできる便利な機能のことです。XB-1は以下のような機能を持っています。

- メモリー・ダンプ XB-1のプリセットパラメータなどのデータをシーケンサーに記録できます
- プリセット・コピー プリセットの設定を他のプリセットへコピーします
- プリセット・バック プリセットナンバーを指定してプリセットの設定を工場出荷時に戻します
- オールリセット XB-1の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します
- レスリーリセット レスリープリセットの設定を工場出荷時の状態に戻します
- システムリセット システムパラメータの設定を工場出荷時の状態に戻します
- エクスペクション・モニタ XB-1内部のエクスペクションレベルがモニタできます
- デモソング・プレイ XB-1にデモ演奏をさせることができます

ユーティリティを使うには



1. 1EDITスイッチを押すとLEDが点灯します。
ディスプレイ表示が、エディットモードに変わります。
エディットモードではプリセットスイッチが、スイッチ上部の印刷の機能に切り換わります。

Select
EDIT PARAMETER

2. 2SYSTEMスイッチを3回押します。
ディスプレイ画面が、ユーティリティモードの画面に切り換わります。

U1 MEMORY DUMP1
ALL DATA OUT

もう1度SYSTEMスイッチを押すとシステムパラメータエディットモードになります。
SYSTEMスイッチを押す度にエディット#のジャンプを繰り返します。

- 3 . 3 PAGE スイッチによりユーティリティ機能を選び、4 VALUE スイッチで機能をスタートさせます。
- 4 . 1EDITスイッチを押すとLEDが消灯し、ディスプレイ表示がプレイモードに戻ります。

| |
|---------------------|
| A-1 JIMMY L#1 UM |
|---------------------|

- 1 . ユーティリティを使用した場合はその機能により、元のプリセット#に戻らない場合があります。
- 2 . ユーティリティからプリセットパラメータエディットモードへの移行はできません。

メモリーダンプ (送信)

セットアップのデータを、MIDIを通して外部のMIDI機器にシステム・エクスクルーシブで転送します。

X B - 1の全パラメータ (プリセット、レスリー、システム) を転送します。

エディット# -U1
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3

U1 MEMORY DUMP1
 ALL DATA OUT

VALUE

U1 MEMORY DUMP ?
 press VALUE()

外部のMIDI機器を「レコード」にしてスタートさせます。

VALUE

MEMORY DUMP1
 Transmitting...

データ転送中、ディスプレイには「Transmitting」と表示されます。

MEMORY DUMP1
 Data Completed!

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはメモリーダンプの初期画面に戻ります。

| 機能名 | エディット# |
|---------------------------|--------|
| MEMORY DUMP(ALL DATA OUT) | U1 |

メモリーダンプ (受信)

保存されたセットアップデータを、MIDIを通して、外部のMIDI機器からシステム・エクスクルーシブでXB - 1に転送します。

エディット# — U2
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3
 3 . PAGE スイッチ

U2 MEMORY DUMP2
 RECEIVE OFF

VALUE スイッチによって、メモリーダンプの受信をする (ON) か、しない (OFF) かを設定します。

工場出荷時は、OFFに設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-----------------------|---------|--------|
| MEMORY DUMP (RECEIVE) | ON, OFF | U2 |

カレントダンプ (送信)

現在のドローパーセッティングとスイッチのパラメータを、外部のMIDI機器にシステム・エクスクルーシブで転送します。

エディット# — U3
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3
 3 . PAGEスイッチ × 2

U3 CURRENT DUMP
 DB&SW. DATA OUT

VALUE

U3 CURRENT DUMP?
 press VALUE()

外部のMIDI機器を「レコード」にしてスタートさせます。

VALUE

CURRENT DUMP
 Transmitting...

データ転送中、ディスプレイには「Transmittig」と表示されます。

U3 CURRENT DUMP
Data Completed!

転送が完了すると、「Data Completed！」と表示されディスプレイはカレントダンプの初期画面に戻ります。

| 機能名 | エディット# |
|--------------|--------|
| CURRENT DUMP | U3 |

プリセット・コピー

プリセット・データを他のプリセット・ナンバーに転送させることができます。

エディット# ~~U4~~
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMスイッチ×3
 3. PAGE スイッチ×3

U4 PRESET COPY
CAN TO CAN

(転送元) (転送先)

PAGE スイッチで左(転送元のプリセット・ナンバー)か右(転送先のプリセット・ナンバー)を選択してください。VALUE スイッチで希望のプリセット・ナンバーを選択してください。

PAGE スイッチ

U4 PRESET COPY ?
 press VALUE()

VALUE

U4 PRESET COPY
Data Completed!

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|-----------|--------|
| PRESET COPY | A-1 ~ H-8 | U4 |

転送が完了すると、「Data Completed！」と表示されディスプレイはプリセット・コピーの初期画面に戻ります。

プリセット・デフォルト

エディットしたプリセット・データを、各プリセットごとに初期設定（工場出荷時）の状態に戻します。

エディット# U5
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×6

U5 PRESET BACK
 to DEFALUT CAN

VALUE スイッチによって、プリセット・ナンバーを選択します。
 PAGE スイッチ

U5 PRESET BACK ?
 press VALUE()

VALUE

U5 PRESET BACK
 Data completed!

転送が完了すると、「Data Completed!」と表示されディスプレイはプリセット・デフォルトの初期画面に戻ります。

| 機能名 | エディット# |
|---------------|--------|
| PRESET DEFALT | U5 |

リセット

リセットすることにより、XB-1を初期設定（工場出荷時）の状態に戻すことができます。リセットプログラムはオール、プリセット、レスリー、システムの4種類のモードでリセットすることができます。

オール・リセット

全てのEDITしたデータが初期設定の状態に戻ります。

エディット# U6
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×8

U6 RESET ALL
 Press VALUE()

VALUE

U6 Are you sure ?
 press VALUE()

VALUE

B in the XB-1
 HAMMOND ORGAN

XB-1 ALL DATA
 ** INITIALIZE **

A-/ CANCEL
 L#1 UM

| 機能名 | エディット# |
|-----------|--------|
| RESET ALL | U6 |

プリセット・リセット

PRESET EDITしたデータのみ初期設定の状態に戻ります。

エディット# —U7—
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3
 3 . PAGE スイッチ × 9

U7 RESET PRESET
 press VALUE()

VALUE

U7 Are you sure?
 press VALUE()

VALUE

XB-1 PRESET DATA
 ** INITIALIZE **

プリセット・データの初期化が終了すると、プリセット・リセットの初期画面に戻ります。

| 機能名 | エディット# |
|--------------|--------|
| RESET PRESET | U7 |

エディット# —U8—
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3
 3 . PAGE スイッチ × 10

U8 RESET LESLIE
 press VALUE()

VALUE

U8 Are you sure?
 press VALUE()

VALUE

XB-1 LESLIE DATA
**** INITISLIZE ****

レスリー・データの初期化が終了すると、レスリー・リセットの初期画面に戻ります。

システム・リセット

SYSTEM EDITしたデータのみ初期設定の状態に戻ります。

エディット# U9
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×11

U9 RESET SYSTEM
 press VALUE()

VALUE

U9 Are you sure?
 press VALUE()

VALUE

XB-1 SYSTEM DATA
**** INITIALIZE ****

システム・データの初期化が終了すると、システム・リセットの初期画面に戻ります。

| 機能名 | エディット# |
|--------------|--------|
| RESET SYSTEM | U9 |

リセットを実行した時ノイズが出ることがあります。リセット実行時はXB-1のボリュームを下げてください。

ハードリセット

XB-1が操作を受け付けなくなった場合は、XB-1を再起動させます。

再起動の方法は、トップパネルにあるDRAWBER SELECTの3つのスイッチ(PEDAL、LOWER、UPPER)を押しながら電源を入れてください。

エクスプレッション・モニター

X B - 1 の音源のエクスプレッション・レベルを表示します。他のMIDI機器をMIDI INに接続されているとき、エクスプレッション・データによるトラブルを回避するための機能です。

エディット# -U10
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×12

U10 EXPRESSION
 monitor : 127

VALUE スイッチによって、0~127の範囲で設定できます。
 工場出荷時は、127に設定されています。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|-------------|-------|--------|
| EXP.MONITOR | 0~127 | U10 |

デモ・ソング

X B - 1 には、3曲のデモ・ソングが内蔵されています。

プレイ

演奏が始まります。

エディット# -U11
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ×3
 3 . PAGE スイッチ×13

U11 DEMO. SONG1
 PLAY OFF

VALUE スイッチによって、PLAY ONにすると演奏が始まります。演奏を終了するときはVALUE スイッチによって、PLAY OFFにします。

| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|----------------|---------|--------|
| PLAY DEMO SONG | ON, OFF | U11 |

セレクト

曲を選択します。

エディット# U10
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMスイッチ × 3
 3 . PAGE スイッチ × 14

U12 DEMO. SONG2
 SELECT SONG1

VALUE スイッチによって、SONG1～3を選択します。
 工場出荷時は、SONG 1 に設定されています。

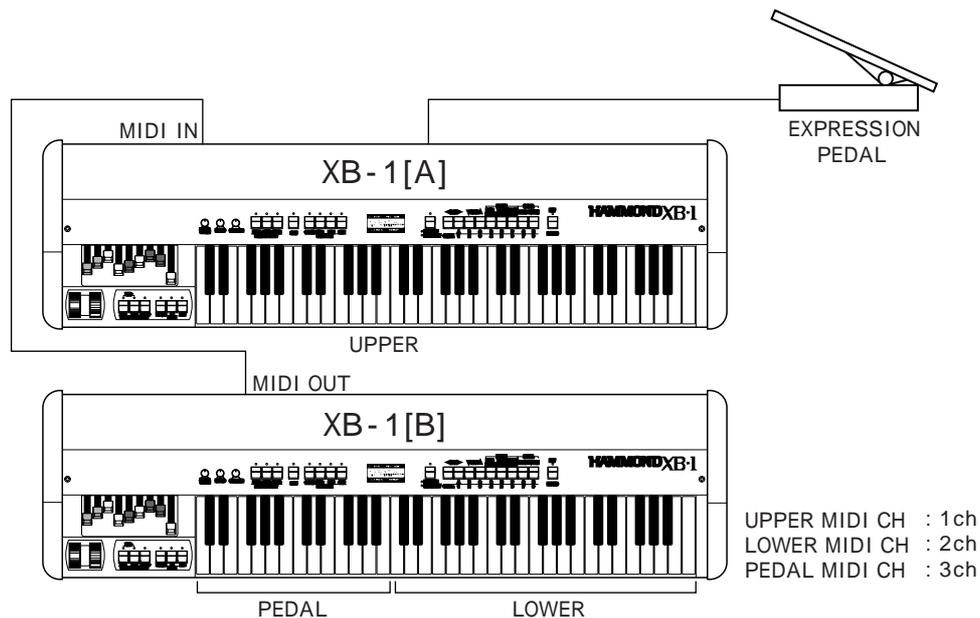
| 機能名 | 値の範囲 | エディット# |
|------------------|-----------|--------|
| SELECT DEMO SONG | SONG1 ~ 3 | U12 |

XB-1 の一歩進んだ使い方

フル・マニュアルオルガンの設定 1

XB-1 2台を使ってフル・マニュアルオルガンにシステムアップすることができます。

1 . 下図のように接続します。



2 . X B - 1 [B] のスプリットモードを [PK + LM] に設定します。

エディット# P35
操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . SYSTEMス 8 イッチ
3 . PAGE スイッチ×1

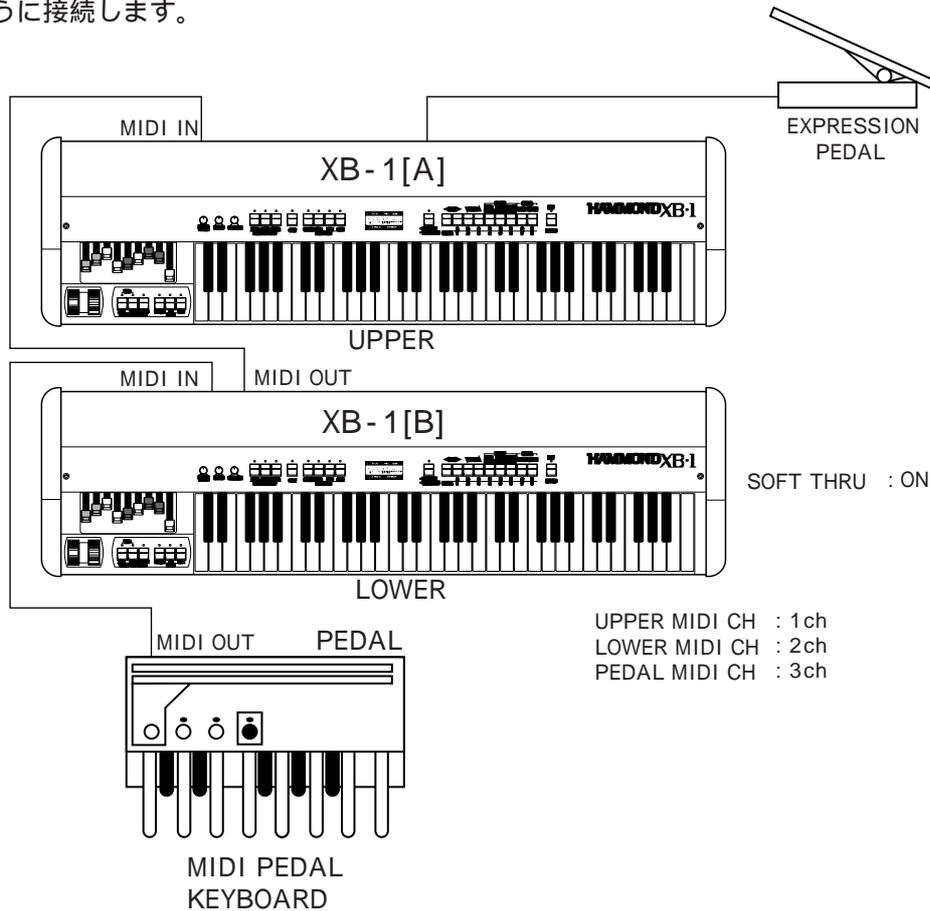
X B - 1 [A] のスイッチでレスリー等のコントロールを行います。

X B - 1 [B] のドローバーでロワーの音をコントロールします。

フル・マニュアルオルガンの設定 2

XB-1 2台と外部キーボードを使ってフル・マニュアルオルガン（3段鍵盤）にシステムアップすることができます。

1. 下図のように接続します。



2. XB-1 [B] のソフトスル - をオンに設定します。

エディット# S31
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMス8 イッチ
 3. PAGE スイッチ x1

3. XB-1 [B] のスプリットの設定をします。

スプリットポイントの設定

エディット# P34
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. PRESET6スイッチ
 3. VALUEスイッチを押し続けて、
 6Cにする。

スプリットをオンにします。

これでXB-1 [B]の鍵盤はすべてLOWERになります。

4. XB-1 [B] のスプリットポイントを [6C] に設定します。

エディット# P34
 操作手順 1. EDITスイッチ
 2. SYSTEMス8 イッチ x1

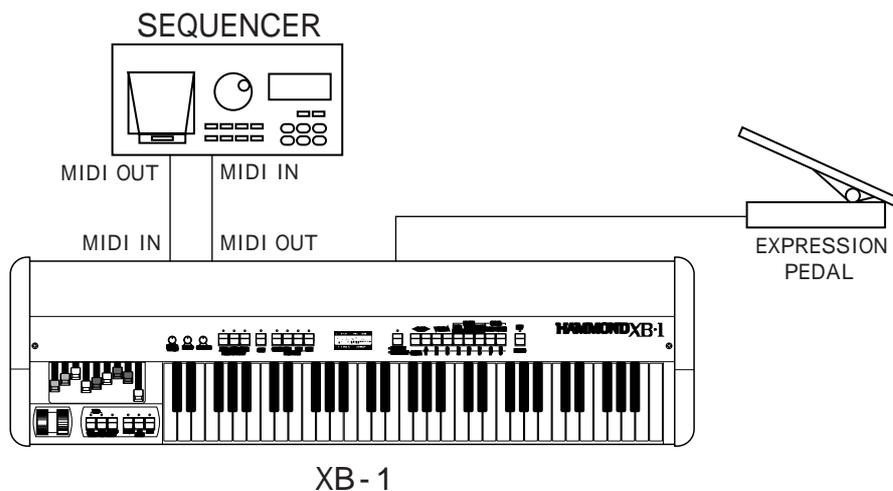
XB-1 [A] のスイッチでレスリー等のコントロールを行います。

XB-1 [B] のドロバーでローの音をコントロールします。

外部のキ - ボ - ドのMIDIチャンネルを3chにするとペダルの音を発音させることができます。

XB - 1 (1台) とシーケンサ - との接続

1 . 下図のように接続します。



2 . XB - 1 のロ - カルをオフに設定します。

エディット# S31
操作手順 1 . EDITスイッチ
2 . SYSTEMス 8 イッチ × 2
3 . PAGE スイッチ × 4

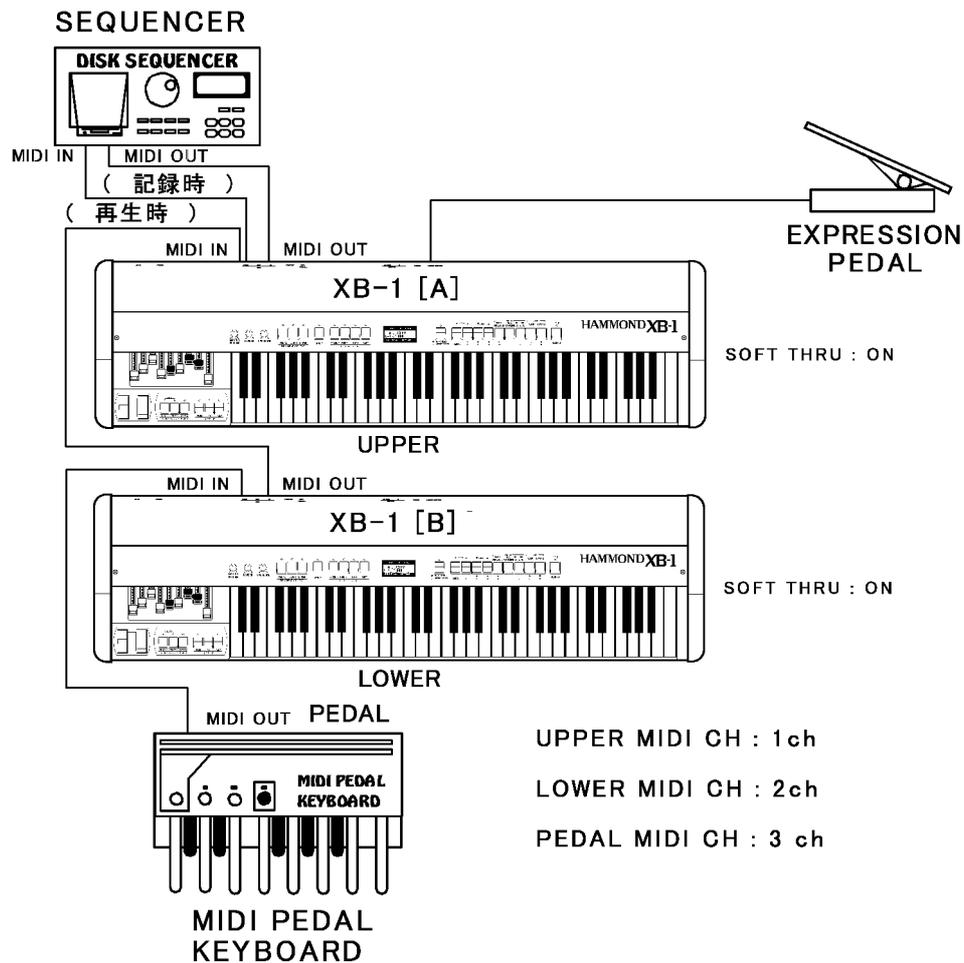
3 . シーケンサ - のソフトスル - をオンに設定します。

4 . シ - ケンサ - をスタ - トさせて、演奏を始めます。

この場合、機器の接続をそのまま、再生することができます。

XB - 1 (2 台) と外部キ - ボ - ドとシ - ケンサ - との接続

1 . 下図のように接続します。



2 . XB - 1 [A] のロ - カルをオンに設定します。

エディット# S3 1
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMス 8 イッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 4

3 . XB - 1 [A] 、 [B] のソフトスル - をオンに設定します。

エディット# S3 1
 操作手順 1 . EDITスイッチ
 2 . SYSTEMス 8 イッチ × 2
 3 . PAGE スイッチ × 2 1

4 . シ - ケンサ - をスタ - トさせて、演奏を始めます。

5 . 再生するとき、上図のようにXB - 1 AのMIDI INとシ - ケンサ - のMIDI OUTを接続し
 なおします。

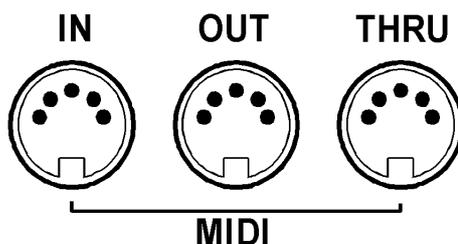
外部のキ - ボ - ドのMIDIチャンネルを 3 c h にするとペダルの音を発音させることができます。

MIDI とは？

MIDIは、Musical Instruments Digital Interfaceの略です。XB-1はMIDIを使い、他の電子楽器やシーケンサー、コンピューターをコントロールすることができます。

MIDIはMIDI協会により定められた世界統一の規格で、この規格に基づいて作られた電子楽器で、それぞれの楽器に応じて演奏情報を交換することができます。

MIDI 端子について



MIDI IN

外部のMIDI機器からMIDI情報を受信します。外部の電子楽器やシーケンサーから送信された演奏情報により、XB-1の音を鳴らしたり、設定を変更したりすることができます。

MIDI OUT

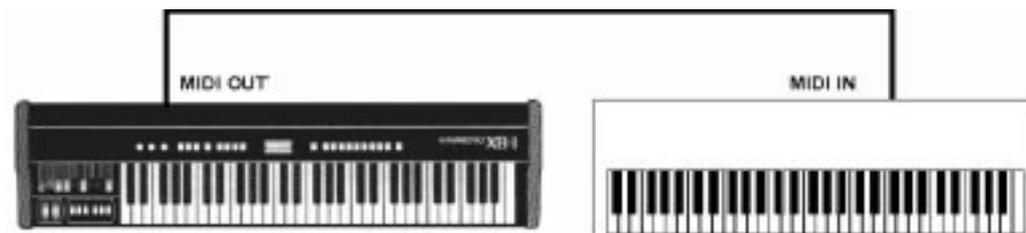
XB-1が出すMIDI情報を送信します。鍵盤を弾いた情報やドローパー・レジストレーション情報を他の電子楽器やシーケンサーに送信します。

MIDI THRU

MIDI INから受信したデータをそのまま送信します。送信するデータはMIDI INで受信した情報と同じ情報が送信されます。ここにもう1つの電子楽器を接続することで、MIDI INした情報を他の電子楽器に分配することができます。

MIDI チャンネル

MIDIには1～16までのMIDIチャンネルがあります。これによりMIDIで送信されるたくさんの演奏情報をチャンネルに分けて選ぶことができます。送信したMIDI機器のチャンネルに受信するMIDI機器のチャンネルを合わせること、送信される情報の中からそのMIDI機器に必要な情報だけを選択することができます。MIDIチャンネルはテレビのチャンネルに例えることができます。必要な情報を放送する放送局にチャンネルを合わせれば、その情報がえられるのと同じことです。



X B - 1 の主な MIDI 情報

MIDI情報は16のチャンネルごとに扱うチャンネル・メッセージと全てのチャンネル共通に扱うシステム・メッセージとに大きく分かれます。X B - 1 が送受信する主なMIDI情報は以下の通りです。詳しくはMIDIインプリメンテーション・チャートをご覧ください。

<チャンネル・メッセージ>

ノートオン

どの鍵盤（ノートナンバー）を、どの速さ（ベロシティ）で、弾いた（ノートオン）かの3つのデータから構成され、まとめて扱われます。

X B - 1 はパーカッションのみ設定によりベロシティを受信します。

プログラムチェンジ

MIDI OUT : 相手の電子楽器の音色をプログラムナンバーで指定し、音色切換えを行います。
MIDI IN : 相手の電子楽器で指定されたプログラムナンバーで、X B - 1 のプリセットが切換わります。

X B - 1 のプリセットはプログラムチェンジ1（キャンセル）～65に該当します。

コントロールチェンジ

エクスプレッション、フットスイッチ、モジュレーションなどの動作に対応して送受信されません。

<システム・メッセージ>

システムエクスクルーシブ・メッセージ

このメッセージは同一機種または同一メーカーの互換性を持つ機種同士で、固有のデータを送受信するためのものです。

X B - 1 はエクスクルーシブ・メッセージを使って、メモリーダンプ（XB-1本体のパラメータの送信）を行い、シーケンサーに記録することができます。

SYSTEM PARAMETER LIST

| NO | FUNCTION | PARAMETERS | DEFAULT SETTINGS |
|----|---------------------|---|------------------|
| 01 | MASTER TUNE | 430 ~ 450Hz | 440 |
| 02 | TUNE MODE | E-TEMPERA, B3-PITCH | B3-PITCH |
| 03 | TRANSPOSE | -6 ~ 0 ~ +6 | 0 |
| 04 | DB VOLUME UM | 0 ~ 127 | 127 |
| 05 | DB VOLUME LM | 0 ~ 127 | 127 |
| 06 | DB VOLUME PK | 0 ~ 127 | 127 |
| 07 | FOOT SW SELECT | LES S/F UM DAMPER LM DAMPER PRESET FW OFF | LES S/F |
| 08 | FOOT SW MODE1 PRESS | ON, OFF | ON |
| 09 | FOOT SW MODE2 | ALTERNATE, MOMENTARY | ALTERNATE |
| 10 | MIDI UM CHANNNEL | 1 ~ 16, OFF | 1 |
| 11 | MIDI LM CHANNNEL | 1 ~ 16, OFF | 2 |
| 12 | MIDI PK CHANNNEL | 1 ~ 16, OFF | 3 |
| 13 | MIDI EXP. CTR | 1 ~ 16, INDIV. | INDIV. |
| 14 | MIDI LOCAL | ON, OFF | ON |
| 15 | MIDI OMNI | ON, OFF | OFF |
| 16 | MIDI NRPN | ON, OFF | OFF |
| 17 | MIDI FOOTSW CTR# | 0 ~ 127 | 64 |
| 18 | MIDI MOD. CTR# | 0 ~ 127 | 1 |
| 19 | MIDI EXP. CTR# | 0 ~ 127 | 7 |
| 20 | MIDI LES S/F CTR# | 0 ~ 127 | 92 |
| 21 | MIDI PRG. CHANGE | ON, OFF | ON |
| 22 | MIDI DB CHANGE | ON, OFF | ON |
| 23 | MIDI CTR CHANGE | ON, OFF | ON |
| 24 | MIDI Tx BENDER | ON, OFF | ON |
| 25 | MIDI Tx MOD. | ON, OFF | ON |
| 26 | MIDI Rx BREATH | ON, OFF | OFF |
| 27 | MIDI Rx AFT | OFF, LES S/F, OD, BEND | OFF |
| 28 | MIDI VOLUME max. | 0 ~ 127 | 127 |
| 29 | MIDI VOLUME min. | 0 ~ 127 | 40 |
| 30 | MIDI Rx TRANSPOSE | -6 ~ 0 ~ +6 | 0 |
| 31 | MIDI SOFT THRU | ON, OFF | OFF |

LESLIE PARAMETER (NRPN) LIST

Bx 62h (99) 00 x : UPPER CHANNEL

Bx 63h (99) aa aa : NRPN code

Bx 06h (6) bb bb : NRPN data

| NO | FUNCTION | NRPN code[aa] | NRPN data[bb] |
|----|----------------------|---------------|------------------------|
| 01 | SLOW SPEED HORN ROTR | 70 (112) | 0,24 ~ 48rpm:00 ~ 0C |
| 02 | SLOW SPEED BASS ROTR | 71 (113) | 0,24 ~ 48rpm:00 ~ 0C |
| 03 | FAST SPEED HORN ROTR | 72 (114) | 0,375 ~ 435rpm:00 ~ 15 |
| 04 | FAST SPEED BASS ROTR | 73 (115) | 0,375 ~ 435rpm:00 ~ 15 |
| 05 | RISE TIME HORN ROTR | 74 (116) | 0.2 ~ 5.0s:00 ~ 18 |
| 06 | RISE TIME BASS ROTR | 75 (117) | 0.5 ~ 12.5s:00 ~ 18 |
| 07 | FALL TIME HORN ROTR | 76 (118) | 0.2 ~ 5.0s:00 ~ 18 |
| 08 | FALL TIME BASS ROTR | 77 (119) | 0.5 ~ 12.5s:00 ~ 18 |
| 09 | BRK TIME HORN ROTR | 78 (120) | 0.2 ~ 5.0s:00 ~ 18 |
| 10 | BRK TIME BASS ROTR | 79 (121) | 0.5 ~ 12.5s:00 ~ 18 |
| 11 | HORN ROTR VOLUME | 7A (122) | 0 ~ -12.5db:00 ~ 0C |
| 12 | BASS ROTR VOLUME | 7B (123) | 0 ~ -12.5db:00 ~ 0C |
| 13 | MIC. SET ANGLE | 7C (124) | 0 ~ 180 ° :00 ~ 06 |
| 14 | MIC. SET DISTANCE | 7D (125) | 0.3 ~ 2.7m:00 ~ 09 |
| 15 | LESLIE PERCUSSION | 7F (127) | OFF:00 ON:7F |

PRESET PARAMETER(NRPN) LIST

| NO | FUNCTION | NRPN code[aa] | NRPN data[bb] |
|-------|-----------------------|---------------|---|
| | (SWITCH) | | |
| Panel | VIBRATO MODE | 45 (69) | 1:00 2:01 3:02 |
| Panel | VIBRATO CHORUS | 0B (11) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | LESLIE BREAK | 6E (110) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | LESLIE ON | 09 (9) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | LESLIE FAST | 00 (0) | SLOW:00 FAST:7F |
| Panel | SPLIT | NO | OFF:00 ON:7F |
| Panel | PERCUSSION SECOND | 12 (18) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | PERCUSSION THIRD | 13 (19) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | PERCUSSION DECAY FAST | 16 (22) | OFF:00 ON:7F |
| Panel | PERCUSSION SOFT | 15 (21) | OFF:00 ON:7F |
| | (NAME) | | |
| 01 | PRESET NAME | NO | 10characters |
| | (DRAWBAR) | | |
| 02 | DB REGIST UM | NO (Bx 50 yy) | |
| 03 | DB REGIST LM | NO (Bx 51 yy) | |
| 04 | DB REGIST PK | NO (Bx 52 yy) | |
| 05 | DB REGIST UM | 3B (59) | SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04 |
| 06 | DB ATTACK LM | 3C (60) | SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04 |
| 07 | DB ATTACK PK | 3D (61) | SLOW ATTACK:00 NO CLICK:01 SOFT CLICK:02 NORM CLICK:03 MAX CLICK:04 |
| 08 | DB SUSTAIN UM | 1C (28) | OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03 |
| 09 | DB SUSTAIN LM | 1D (29) | OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03 |
| 10 | DB SUSTAIN PK | 1E (30) | OFF:00 SHORT:01 MID:02 LONG:03 |
| 11 | DB VOICING UM | 38 (56) | B- TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02 |
| 12 | DB VOICING LM | 39 (57) | B- TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02 |
| 13 | DB VOICING PK | 3A (58) | NORMAL:00 MUTED:01 |
| 14 | DB FOLD BACK UM LOW | 5B (91) | 1C ~ 2C:00 ~ 0C |
| 15 | DB FOLD BACK UM HIGH | 5C (92) | 4G ~ 5C:2B ~ 3C |
| 16 | DB FOLD BACK LM LOW | 5D (93) | 1C ~ 2C:00 ~ 0C |
| 17 | DB FOLD BACK LM HIGH | 5E (94) | 4G ~ 5C:2B ~ 30 |

| NO | FUNCTION | NRPN code[aa] | NRPN data[bb] |
|-------------|------------------------|---------------|--|
| (PERC.) | | | |
| 18 | PERC. DECAY SLOW SPEED | 50 (80) | 1 ~ 8:00 ~ 07 |
| 19 | PERC. DECAY FAST SPEED | 51 (81) | 1 ~ 8:00 ~ 07 |
| 20 | PERC. LEVEL NORMAL | 52 (82) | 1 ~ 16:00 ~ 0F |
| 21 | PERC. LEVEL SOFT | 53 (83) | 1 ~ 16:00 ~ 0F |
| 22 | PERC. TOUCH | 57 (87) | OFF:00 ON:7F |
| 23 | PERC. VELOCITY | 58 (88) | OFF:00 ON:7F |
| 24 | PERC. DB CANCEL | 5A (90) | OFF:00 ON:7F |
| 25 | PERC. DB LEVEL | 5F (95) | 0:00 -3db:7F |
| 26 | PERC. KEY TRACKING | 6C (108) | OFF:00 ON:7F |
| (ANIMATION) | | | |
| 27 | VIBRATO SPEED | 3F (63) | SLOW:00 MID :01 NORM :02 MIDF :03 FAST :04 |
| 28 | LESLIE PRESET | 6F (111) | #1 ~ #5:00 ~ 04 |
| 29 | REVERB MODE | 7E (126) | ROOM :00 LIVE :01 HALL :02 CHURCH:03 |
| 30 | REVERB LEVEL | NO | 0 ~ 15:00 ~ 0F |
| 31 | OVERDRIVE LEVEL | 6D (109) | 0 ~ 15:00 ~ 0F |
| 32 | TREBLE | 6A (106) | 1 ~ 6:00 ~ 05 |
| 33 | OSCILLATOR PHASE CNT. | 6B (110) | OFF:00 ON:7F |
| (INT CONT.) | | | |
| 34 | SPLIT POINT | NO | 1C ~ 6C:00 ~ 3C |
| 35 | SPLIT VOICE | NO | LOWER:00 PEDAL:01 |
| 36 | LM OCTAVE UP | NO | 0:00 1:01 2:02 |
| 37 | BENDLENGTH UM | NO (RPN) | |
| 38 | BENDLENGTH LM | NO (RPN) | |
| 39 | BENDLENGTH PK | NO (RPN) | |
| 40 | MODULATION MODE | NO | OFF:00 LES S/F:01 |
| 41 | ORGAN ZONE KEYMAP LOW | NO | 1C ~ 6C:00 ~ 3C |
| 42 | ORGAN ZONE KEYMAP HI | NO | 1C ~ 6C:00 ~ 3C |
| (EXT CONT.) | | | |
| 43 | ZONE1 CHANNEL | NO | NO |
| 44 | ZONE1 PROGRAM# | ↓ | ↓ |
| 45 | ZONE1 BANK# MSB | ↓ | ↓ |
| 46 | ZONE1 BANK# LSB | ↓ | ↓ |
| 47 | ZONE1 KEYMAP LOW | ↓ | ↓ |
| 48 | ZONE1 KEYMAP HI | ↓ | ↓ |
| 49 | ZONE1 KEY OCTAVE | ↓ | ↓ |
| 50 | ZONE1 VOLUME MAX | ↓ | ↓ |
| 51 | ZONE1 VOLUME MIN | ↓ | ↓ |
| 52 | ZONE1 VELOCITY CURVE | ↓ | ↓ |
| 53 | ZONE1 BENDER | ↓ | ↓ |
| 54 | ZONE1 MODULATION | ↓ | ↓ |
| 55 | ZONE1 DAMPER | ↓ | ↓ |
| 56 | ZONE2 CHANNEL | ↓ | ↓ |
| 57 | ZONE2 PROGRAM# | ↓ | ↓ |
| 58 | ZONE2 BANK# MSB | ↓ | ↓ |
| 59 | ZONE2 BANK# LSB | ↓ | ↓ |
| 60 | ZONE2 KEYMAP LOW | ↓ | ↓ |
| 61 | ZONE2 KEYMAP HI | ↓ | ↓ |
| 62 | ZONE2 KEY OCTAVE | ↓ | ↓ |
| 63 | ZONE2 VOLUME MAX | ↓ | ↓ |
| 64 | ZONE2 VOLUME MIN | ↓ | ↓ |
| 65 | ZONE2 VELOCITY CURVE | ↓ | ↓ |
| 66 | ZONE2 BENDER | ↓ | ↓ |
| 67 | ZONE2 MODULATION | ↓ | ↓ |
| 68 | ZONE2 DAMPER | ↓ | ↓ |

MIDI Implementation Chart

| Function | | Transmitted | Recognized | Remarks |
|------------------|-----------------|----------------|------------|-----------------------|
| Basic Channel | Default | 1 | 1 | Upper channel * 1 |
| | Changed | 1-16 | 1-16 | |
| Mode | Default | MODE 3 | MODE 3 | |
| | Message Altered | X ***** | X ***** | |
| Note Number | :True voice | 36-96 ***** | 36-96 | Transpose± 6 |
| Velocity | Note ON | | | |
| | Note OFF | X | X | |
| After Touch | Key's | X | X | |
| | Ch's | X | | |
| Pitch Bend | | | | |
| Control Change | BankSelect | | X | ONLY ZONE ch |
| | | | X | ONLY ZONE ch |
| | Modulation | | | |
| | Breath Type | | | MAIN VOLUME |
| | Main Volume | | | MAIN VOLUME |
| | Wxpression | | | EXPRESSION |
| | Tremolo | | | LESLIE slow / fast |
| | Hold1 | | | DAMPER |
| | NRPN LSB | | | If NRPN SW ON |
| | NRPN MSB | | | |
| | RPN LSB | | | BEND SENSITIVITY |
| | RPN MSB | | | |
| | DATA MSB | | | |
| | UM DRAWBAR | | | |
| LM DRAWBAR | | | | |
| PK DRAWBAR | | | | |
| Prog Change | :True# | 1-65 ***** | 1-65 | Cancel+8Bankx 8Preset |
| System Exclusive | | | | |
| Common | :Song Pos | X | X | |
| | :Song Sel | X | X | |
| | :Tune | X | X | |
| System Real Time | :Clock | X | X | |
| | :Commands | X | X | |
| Aux Messages | :Local on/off | X | X | (123) |
| | :All note off | | | |
| | :Active Sense | | | |
| Notes | :Reset | X | X | |
| | | | | |

* 1 LOWER ch:2 ZONE1 ch:OFF
PEDAL ch:3 ZONE2 ch:OFF

Mode1 :OMNI ON, POLY Mode2 :OMNI ON, MONO :Yes
Mode3 :OMNI OFF, POLY Mode4 :OMNI OFF, MONO X :No

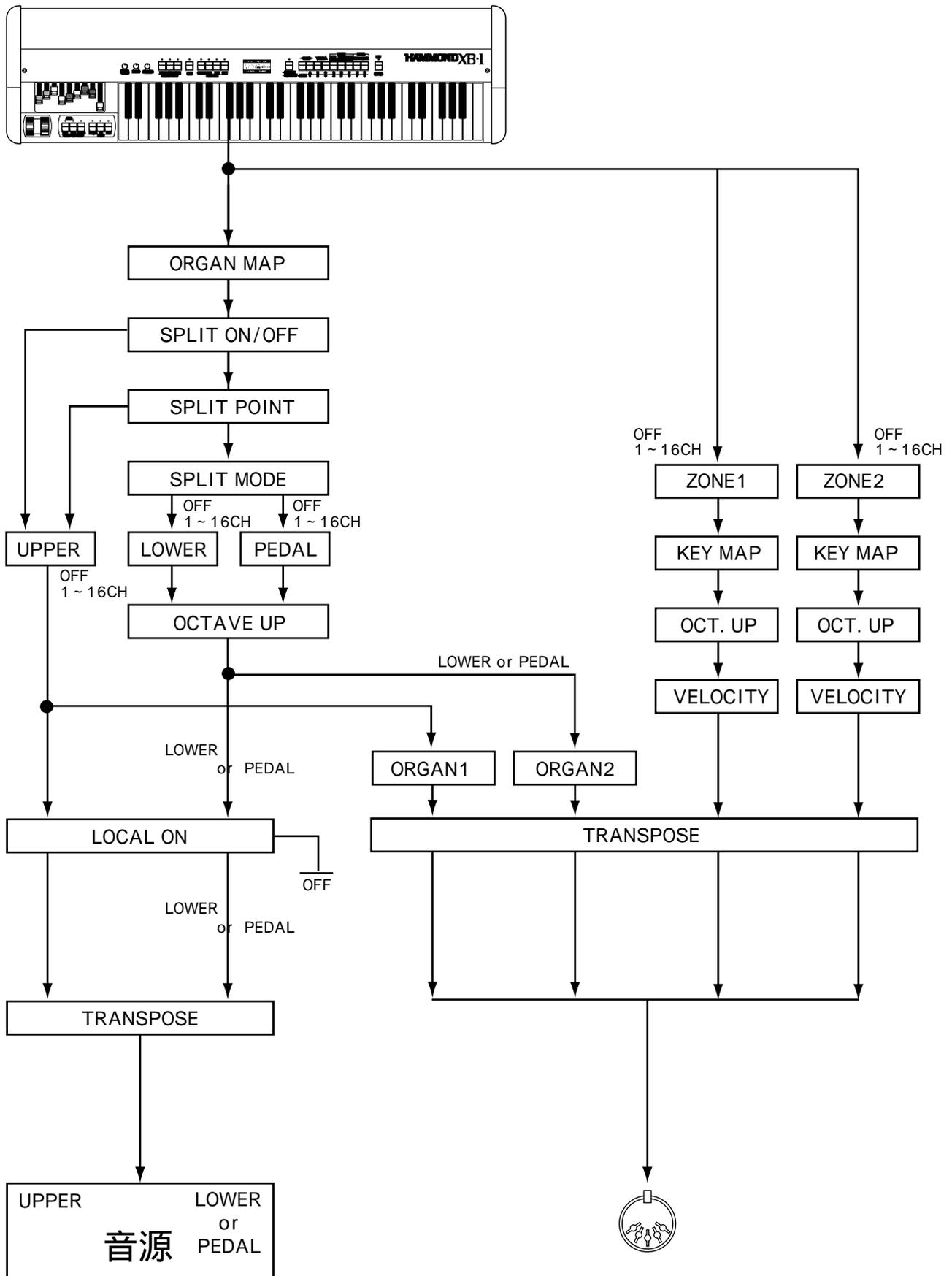
MIDI Implementation Chart (Each Channel)

| FUNCTION | | | UPPER | | LOWER | | PEDAL | | ZONE1 | | ZONE2 | | EXP CONT | |
|-------------------|-------------|---------|----------|----|----------|----|----------|----|-------------|----|-------------|----|----------|---------------|
| | | | OUT | IN | OUT | IN | OUT | IN | OUT | IN | OUT | IN | OUT | IN |
| MIDI CHANNEL | | | 1~16,OFF | | 1~16,OFF | | 1~16,OFF | | 1~16 OFF | X | 1~16 OFF | X | INDI. | 1~16 INDI. |
| PROGRAM CHANGE | | | | | X | X | X | X | | X | | X | X | X |
| PITCH BEND | | | | | | | | | | X | | X | X | X |
| CONTROL CHANGE | BANK SELECT | MSB 0 | X | X | X | X | X | X | | X | | X | X | X |
| | | LSB 32 | X | X | X | X | X | X | | X | | X | X | X |
| | MODULATION | 1 | | | X | X | X | X | | X | | X | X | X |
| | VOLUME | 1 7(2) | | | | | | | 3 | X | 3 | X | 3 | X |
| | EXPRESSION | 2 11 | | | | | | | | X | | X | | |
| | TREMOLO | 92 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | | HOLD1 | 64 | | | | | | | X | | X | X | X |
| | NRPN | LSB 98 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | | MSB 99 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | RPN | LSB 100 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | | MSB 101 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | DATA ENTRY | MSB 6 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | UM DRAWBAR | 80 | | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| LM DRAWBAR | 81 | X | X | | | | | X | X | X | X | X | X | |
| PK DRAWBAR | 82 | X | X | X | X | | | | X | X | X | X | X | |
| AFTER TOUCH | CH'S | | X | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |
| | KEY'S | | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X | X |

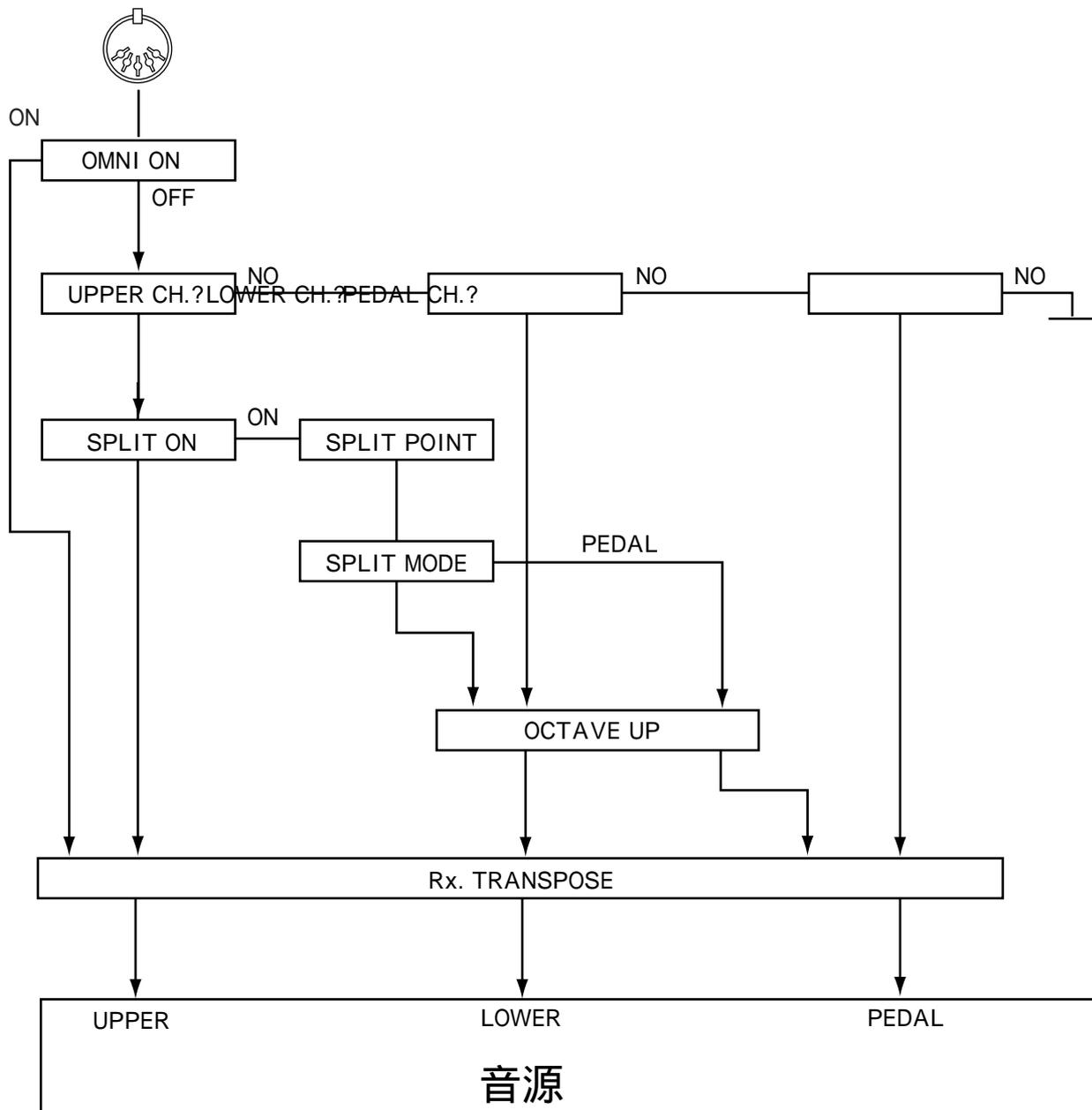
- 1: VOLUMEのコントロールナンバーは2または7で、後に受信したものが有効になります。コントロールナンバー2は、Rx.BREATH=ONの時のみ受信します。
- 2: エクスプレッションペダルの送信コントロールナンバーは、自由に変更できます。EXPRESSIONの受信は、MIDI EXP. CTがINDIVの場合各パートのチャンネルで、1~16の場合そのチャンネルのみで行われます。
- 3: MIDI EXP. CTによって、エクスプレッションペダルの値をVOLUMEとして送信することは可能です。

MIDIキーデータチャート図

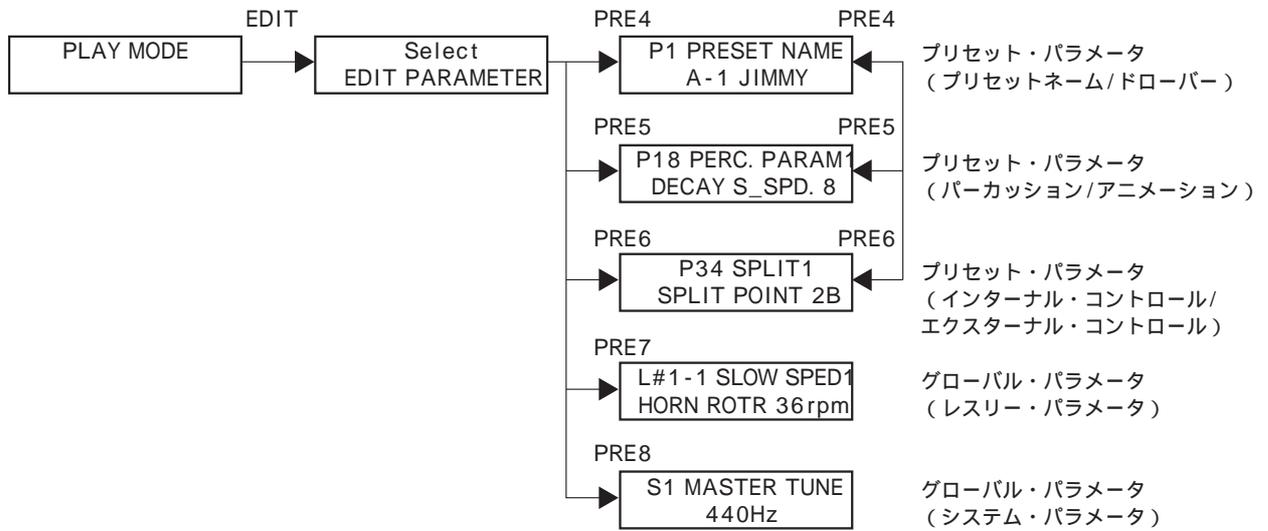
XB-1 MIDI OUT



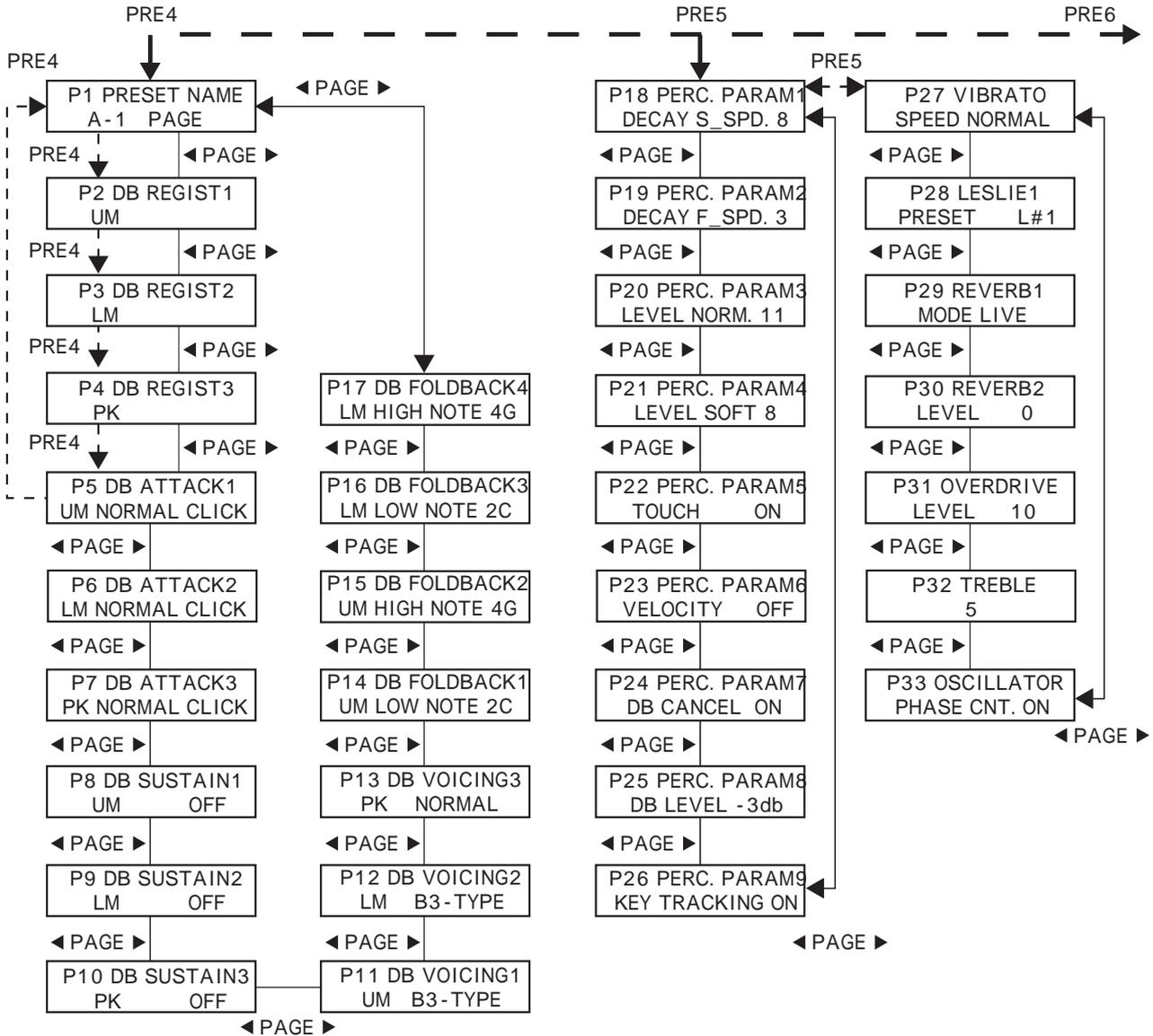
XB-1 MIDI IN

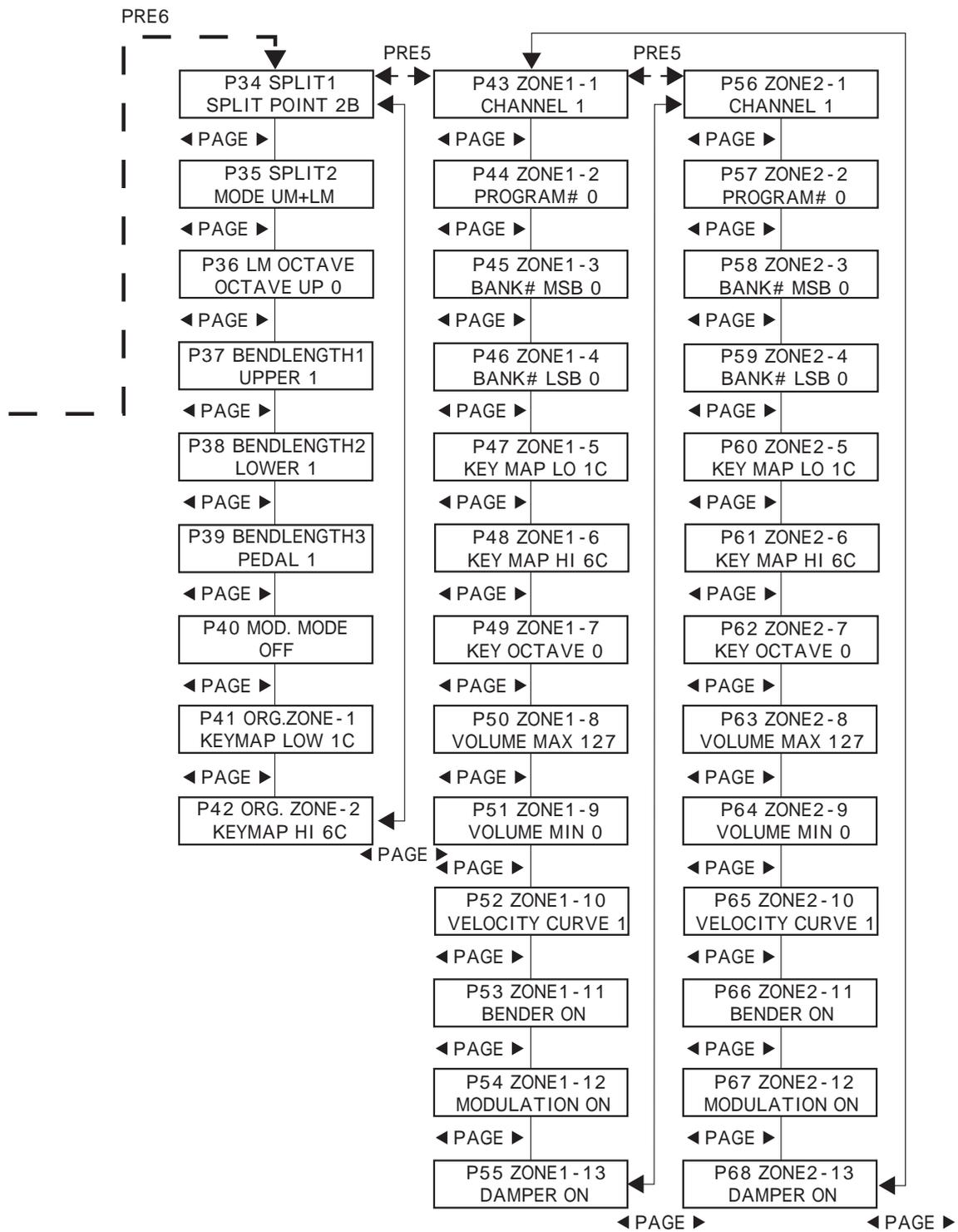


操作フローチャート

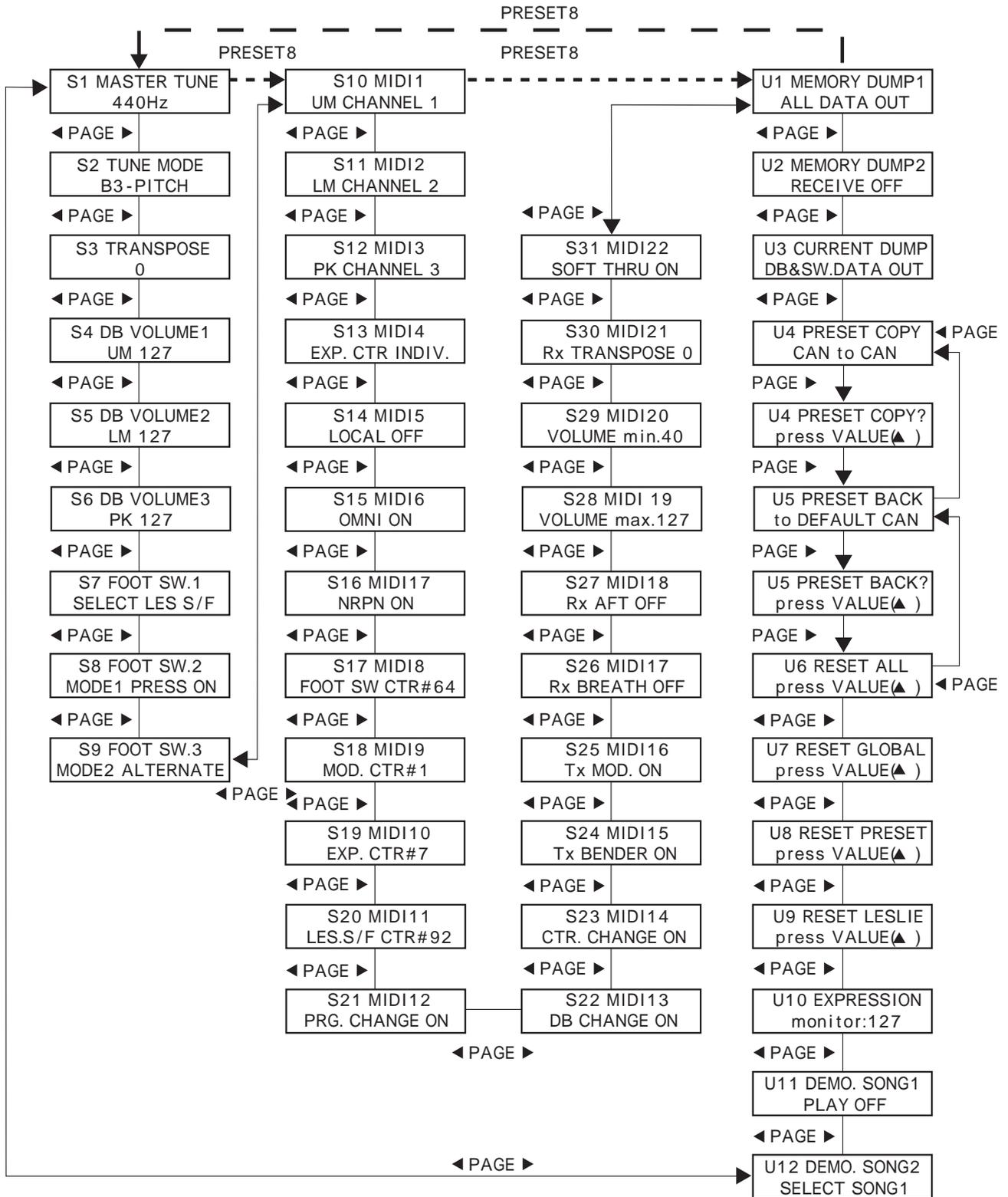


プリセット・パラメータ

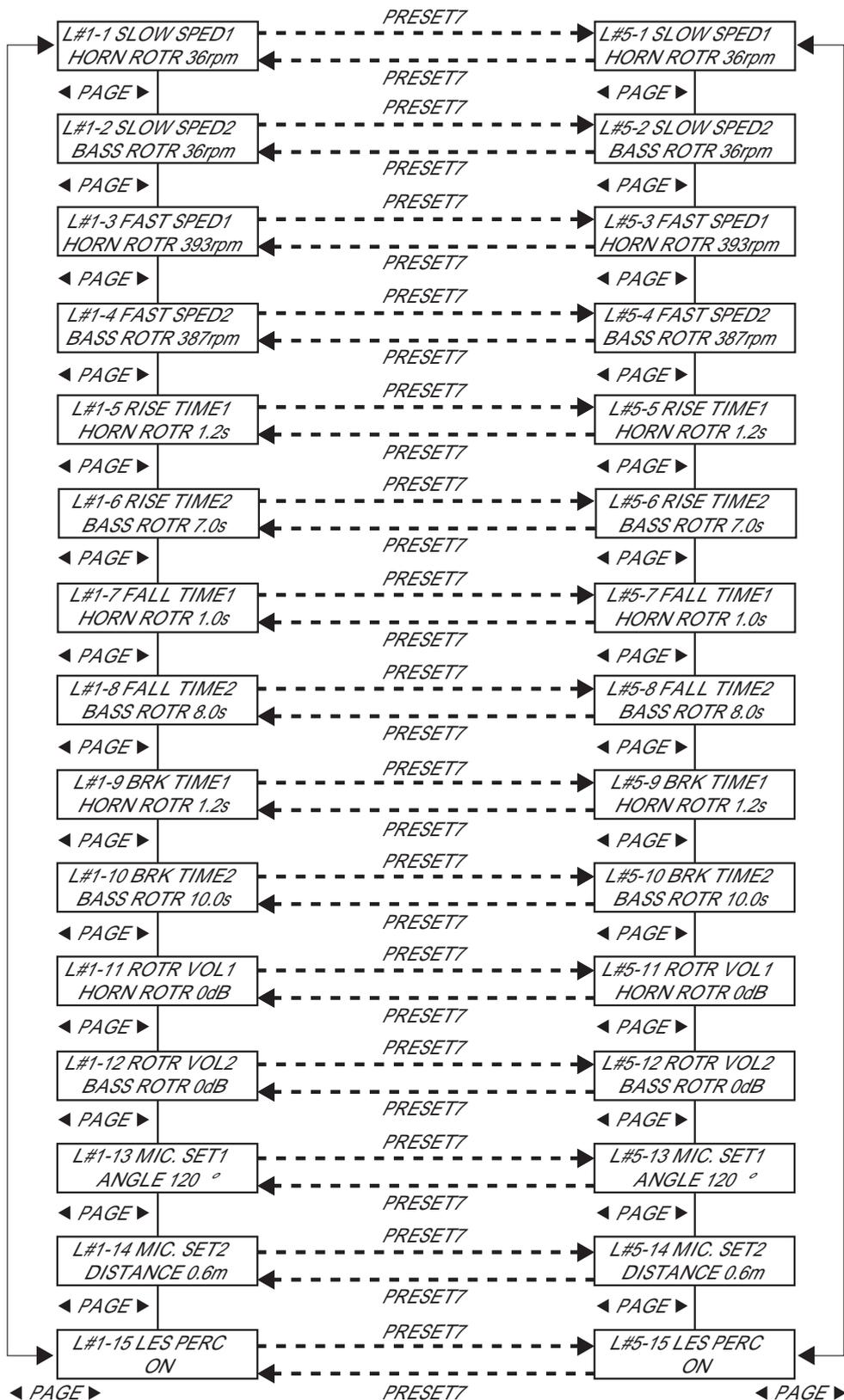




グローバル・パラメータ (システム・パラメータ)



グローバル・パラメータ (レスリー・パラメータ)



XB-1 仕様

| | | |
|-------------------|--|--|
| Keyboard | 61keys with velocity | |
| Drawbar | "(9pitch)16', 5 1/3', 8', 4', 2 2/3', 2', 1 3/5', 1 1/3', 1" | |
| Sound Generator | VASEII+DRB system | |
| Drawbar Voice | B-3TYPE/MELLOW/BRITE | |
| Max. Poliphony | 32notes | |
| Internal Memory | 64presets(8 × 8bank)+1cancel | |
| Leslie | 2Rotor Digital Leslie | |
| Vibrato | Digital Scanner Vibrato(V1/V2/V3/C1/C2/C3) | |
| Effect | Reverb (4modes) | |
| Wheel | "PITCH BEND, MODULATION" | |
| MIDI | "Upper, Lower, Pedal (3Part Multitimbral)" | |
| Panel Controls | Leslie | "SLOW/FAST, ON/OFF, BRAKE/THRU" |
| | Vibrato | "VIBRATO1, VIBRATO2, CHORUS" |
| | Percussion | "SECOND, THIRD, DECAY FAST, SOFT" |
| | Preset | "BANK SELECT, EDIT/RECORD, CANCEL, PRESET1, PRESET2" "PRESET3, PRESET4, PRESET5, PRESET6, PRESET7, PRESET8" |
| | D/B select | "UPPER, LOWER, PEDAL" |
| | Split | ON/OFF |
| | Volume | "MASTER VOLUME, REVERB VOLUME, OVER-VOLUME" |
| DRIVE | | |
| Edit | PRESET NAME DRAWBAR PERCUSSION ANIMATION INTERNAL CONTROL EXTERNAL ZONE CONTROL LESLIE SYSTEM | |
| Display | "16-character, 2-line backlight LCD" | |
| Connector OUT/ | "AC INPUT, LINE OUT L/R, LESLIE DRIVER, MIDI IN/ THRU," "HEADPHONE, FOOT SWITCH, EXP.PEDAL" | |
| Power Supply | 100V ~ 240V | |
| Power Consumption | 7W | |
| Dimension | 1160(W)x319(D)x88(H)mm | |
| Weight | 11kg | |
| Accessories | AC Cord | |

